

# 目黒区地域交通検討に係る アンケート調査結果

# 目 次

1. アンケート調査の概要.....	1
2. アンケート集計結果および分析.....	14
3. 区民ニーズによる分析.....	39
4. アンケート分析結果のまとめ.....	65
5. アンケート調査の自由意見の整理.....	67

# 目黒区地域交通検討に係るアンケート調査

## 1. アンケート調査の概要

### (調査の概要)

- (1) 調査の対象：目黒区在住の満 18 歳以上の男女（平成 31 年 4 月 1 日現在）
- (2) 標 本 数：5,677 部（5,500 部+追加 177 部）
- (3) 調 査 方 法：郵送による調査票の発送及び無記名回収
- (4) 回 収 総 数：2,239 部
- (5) 有効回収率：39.4%
- (6) 調 査 期 間：令和 1 年 5 月 17 日～6 月 14 日  
                  （追加調査（区内在住の外国籍の人を対象）  
                  令和 1 年 5 月 31 日～6 月 28 日）

### (背景および目的)

目黒区は、鉄道・路線バス等の公共交通の利便性が比較的高い状況にありますが、乗換えが面倒、また急な坂道があるなど、地域によって移動に関する状況は様々です。

そこで、それぞれの地域の皆さんに日常の移動に関してどのような移動に不便を感じているのか現状を把握し、目黒区における地域交通の支援策を検討するための基礎資料として活用することを目的にアンケート調査を行いました。

## 日常の移動や公共交通に関するアンケート調査

### アンケートの趣旨とご協力をお願い

少子高齢化が進展する中で、高齢者等を中心に移動に不便を感じる方が増加することが予想されることから、日常生活を送る上でこれまで以上に利便性の高い移動手段の重要性が高まると考えられます。

目黒区は、鉄道・路線バス等の公共交通の利便性が比較的高い状況にありますが、乗換えが面倒、また急な坂道があるなど、地域によって移動に関する状況は様々です。

そこで、それぞれの地域の皆様に日常の移動に関してどの様な移動に不便を感じているのか現状を把握し、目黒区における地域交通のうち、小型車両などの新たな交通システムの導入について考えるための基礎資料に活用することを目的として、具体的な検討へ役立てるためアンケート調査を行うことといたしました。

つきましては、この調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いいたします。

「地域交通」とは、徒歩や自転車、タクシー、ワゴン型バスなど、身近な地域の交通のことを言います。

令和元年 5月  
目黒区役所 みどり土木政策課

### この調査について

#### 【アンケートのご記入にあたってのお願い】

ご回答は、調査票に該当する番号に を付けていただき、施設や地名を記入される場合は、具体的な内容をご記入ください。

**調査は個人に回答していただきます。**

この調査は無記名式の調査です。個人属性（居住地区・年齢・性別など）は記入していただきますが、回答は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。なお、回答結果につきましては、本調査以外の目的に使用することは一切ありませんのでご安心ください。

アンケートの実施期間は、5月31日(金)～6月28日(金)までです。同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

アンケートのお問合せ先

担 当 ： 目黒区都市整備部みどり土木政策課

電話番号：03-5722-9550

## 新しい移動手段の検討について（アンケート調査の目的）

### ①皆さまの日常の移動に関して不便と感じていることをお聞きします。

- 例えば、以下のような移動に不便を感じていませんか・・・

病院へ行く  
バスがないんだよ。

家の近くに坂が  
多くて大変だ。



バス停まで  
遠くて不便だわ。

地域ごとに移動の問題点を整理し、明らかにします。

### ②目黒区に導入できる地域交通を検討します。

- 地域交通は、一般に「徒歩」・「自転車」・「タクシー」・「バス」等の身近な交通のことを言います。
- 目黒区は、鉄道や路線バスの利便性が比較的高い状況にありますが、道路幅が狭いなどの事情により既存のバスの走行ができない地域などでは、小型車両などによる新たな交通システムの検討が必要です。

他都市の  
地域交通の例



神奈川県川崎市「山ゆり号」

【運行例】

身近な地域に乗り場を設け、商業施設や医療施設、公共施設、高齢者施設、最寄鉄道駅などへの運行ルートを地域の皆さんと検討し、日常の身近な交通手段を確保している。

### ③皆さまと一緒に移動の問題点に対する解決策を考えていきます。

- 皆さまが考える地域に合った解決策は・・・

出かけたいときに  
使えると便利だね。

狭い道路も通れる  
小回りのきく車  
がいいわね。



家の近くまで来てくれる  
と助かるね。

各地域の皆さまが、使いやすい交通手段について、意見を出しあい考え、実現化するために、行政が支援していきます。

## 日常の移動や公共交通に関するアンケート調査票

ご回答は、該当する番号に をお付けください。

回答欄の「その他」などの下線部には、具体的な内容をご記入ください。

### 問1 「あなた自身のこと」についてお聞きします

#### 問1.1 あなたの性別をお答えください。(1つ選択)

統計分析のため「男性・女性」の選択としていますので、自認する性別を選んでください。自認する性別がどちらでもない方は、住民登録上の性別をお答えください。

男性                  女性

#### 問1.2 あなたの年代をお答えください。(1つ選択)

10代                  20代                  30代                  40代                  50代  
60～64歳              65～69歳              70～74歳              75～79歳              80～84歳  
85歳以上

#### 問1.3 あなたの現住所をお答えください。(1つ選択)

該当する住所の番号に をお付けください。(1つ選択)

駒場	青葉台	東山	大橋	上目黒	中目黒
三田	目黒	下目黒	中町	五本木	祐天寺
中央町	目黒本町	原町	洗足	南	碑文谷
鷹番	平町	大岡山	緑が丘	自由が丘	中根
柿の木坂	八雲	東が丘	目黒区以外		



何丁目かを記入してください ( \_\_\_\_\_ )丁目

#### 問1.4 あなたのご職業等をお答えください。(1つ選択)

高校生                                  大学生                                  その他学生(予備校含む)  
勤め人(会社員・公務員等)          会社経営・役員                      自営業主(農林業含む)  
パート・アルバイト                  無職(専業主婦・主夫)              無職(定年退職者等含む)  
その他( \_\_\_\_\_ )

#### 問1.5 5歳以下の児童や乳幼児等との同居についてお答えください。(1つ選択)

いる                  いない

## 問2 「あなたの移動手段」についてお聞きします

### 問2.1 運転免許の保有状況をお答えください。(1つ選択)

- 自動車の運転免許をもっている  
自動車はないが、バイク・原付の運転免許はもっている  
以前はもっていたが返納した又は失効して今はない  
運転免許をとったことがない  
その他(\_\_\_\_\_)

### 問2.2 公共交通(鉄道、バス、タクシー)以外で、利用できる交通手段をお答えください。(複数選択可)

自家用車(自分の運転)



#### < 自家用車(自分の運転)と回答された方のみ >

自家用車の運転はいつまで続けたいかお答えください。(1つ選択)

- 65歳より前      65~69歳      70~74歳      75~79歳      80~84歳  
85歳以上      その他(\_\_\_\_\_)

運転を辞めた場合、利用すると思われる交通手段をお答えください。(複数選択可)

- 自家用車(家族・知人による送迎)  
鉄道      バス      タクシー      自転車      何もない(徒歩のみを含む)  
その他(\_\_\_\_\_)

自家用車(家族・知人による送迎)



#### < 自家用車(家族・知人による送迎)と回答された方のみ >

送迎の依頼にあたって何か困っていることはありますか。(1つ選択)

- 特に困っていることはない      困っていることがある



#### < 困っていることがあると回答された方のみ >

どのようなことで困っているか、お答えください。(複数選択可)

- 曜日・時間等の制約がある      行ける範囲が限定される  
家族・知人に頼みづらい      その他(\_\_\_\_\_)

- バイク・原付  
自転車  
何もない(徒歩のみを含む)  
その他(\_\_\_\_\_)

**問3 「公共交通の利用状況」についてお聞きします**

問3.1 あなたの自宅から最も利用する駅やバス停についてお答えください。  
また、それぞれの駅やバス停に徒歩で向かう場合にかかる時間や利便性  
についてもお答えください。

		駅名・バス停名 (駅名は1つ選択) (バス停名は下線部に記入)	自宅から 徒歩で かかる時間	利便性 (複数選択可) (その他を選択した 場合は、理由も記入)
<b>駅</b>	最も 利用する 駅	<b>駅名</b> 駒場東大前      池尻大橋 駒沢大学        代官山 中目黒            祐天寺 学芸大学        都立大学 自由が丘        恵比寿 目黒              不動前 武蔵小山        西小山 洗足              大岡山 緑が丘           池ノ上 神泉              利用しない その他( _____ )	約 _____ 分	無理なく歩ける 駅まで距離があり不便 坂道や段差があり不便 歩道が十分に確保され ていないため不便 身体的に歩行が困難 その他 ( _____ )
	バス停	<b>バス停名</b> _____	約 _____ 分	無理なく歩ける バス停まで距離があり 不便 坂道や段差があり不便 歩道が十分に確保され てないため不便 身体的に歩行が困難 その他 ( _____ )



## 問4「あなたの日常移動」についてお聞きします

問4.1 あなたの日常移動について、通勤・通学や買い物、通院など「移動の目的」ごとに回答ください。「移動の目的」があてはまらない場合は、回答しないで結構です。それぞれの目的ごとに、移動先や移動手段、およその移動頻度、移動時間帯（普段外出される時間帯）をお答えください。

移動の目的	移動先 (1つ選択)	移動手段 (複数選択可)	移動頻度 (1つ選択)	移動時間帯 (行き・帰りで 1つずつ選択)
通勤・通学	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 ( )	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	行きの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降
買い物	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 ( )	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	帰りの時間帯
				9時前 9～12時 12～15時 15～18時 18時以降

4

移動の目的	移動先 (1つ選択)	移動手段 (複数選択可)	移動頻度 (1つ選択)	移動時間帯 (行き・帰りで 1つずつ選択)
通院	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 ( )	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	行きの時間帯
				9時前
				9～12時
				12～15時
15～18時				
18時以降				
帰りの時間帯				
9時前				
9～12時				
12～15時				
15～18時				
18時以降				
その他	その他目的施設の名称：( )			
	自宅周辺 区内 区外	自家用車 家族・知人による送迎 訪問施設のサービスによる送迎 鉄道 バス タクシー バイク・原付 自転車 徒歩のみ その他 ( )	週5回以上 週3～4回 週1～2回 月2～3回程度 月1回以下	行きの時間帯
				9時前
				9～12時
12～15時				
15～18時				
18時以降				
帰りの時間帯				
9時前				
9～12時				
12～15時				
15～18時				
18時以降				

## 問5 「日常の移動で不便に感じていること」についてお聞きします

問5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。  
(複数選択可)

とくに不便はない

自宅から駅やバス停まで遠く感じる

自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある

自宅から駅やバス停までの道路の幅員が狭く歩きにくい

自宅から駅やバス停までの道路上に電柱等があるため歩きにくい

自宅から駅やバス停までの道路で車(自転車含む)の交通量が多い、またスピードを出すため、危ない

バスの運行本数が少ない

バスは移動に時間がかかる

バスが時間通りに来ない

バスの乗降りの段差が大変

タクシー料金が高い

タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる

使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない



< 使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がないを回答された方のみ >

使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない代わりに使う移動手段をお答えください。

(複数選択可)

自家用車(自分の運転)

自家用車(家族・知人による送迎)

タクシー

バイク・原付

自転車

何もない(徒歩のみを含む)

その他( \_\_\_\_\_ )

その他( \_\_\_\_\_ )

## 問6 「小型車両などの新たな交通システム導入に関する取組み方」についてお聞きします

問6.1 今後、あなたの地域で新たな交通システムを導入していくためには、区民の皆さんが不便と感じる問題について、一緒に検討する必要があると考えています。そこで、新たな交通システム導入に関する検討への参加について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つ選択)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 検討に参加したい       | 検討の内容によって参加したい |
| 行政主体で検討するべきである | わからない          |
| その他( _____ )   |                |

問6.2 新たな交通システム導入にあたっては、車両の用意やバス停の設置などの費用がかかります。新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つ選択)

バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮のため、他の事業から予算を振り替えてでも、運行経費等の財源の大部分を行政が出し、新たな交通システムを導入すべきである  
バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮の点から新たな交通システムの導入は望ましいが、行政が支援する対象を絞るべきで、財源を出す場合は一定の限度を設ける方がよい



< 財源を出す場合は一定の限度を設けるほうがよいを回答された方のみ >

どのような限度が適当と思うか、お答えください。(複数選択可)

- 車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)
- 停留所等の設置にかかわる費用
- 利用促進PRにかかわる費用
- 高齢者等の利用者への利用費に対する補助
- その他( \_\_\_\_\_ )

バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮のために新たな交通システム導入の事業を行う場合であっても、新たに行政の財源を出すべきではない  
わからない  
その他( \_\_\_\_\_ )

問6.3 将来、小型車両などの新たな交通システム導入に伴い、住宅街で運行されることになった場合、運行への協力(自宅周辺での停留所の設置などへの理解)ができるかどうか、お答えください。(1つ選択)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 協力することができる   | 内容によっては協力を検討する |
| あまり協力したくない   | わからない          |
| その他( _____ ) |                |

「新たな交通システム」とは、道路幅が狭いなどの事情により既存のバスが走行できない地域で、小型車両などの運行による新たな移動手段の交通のことを言います。

**問7「目黒区の今後の新たな交通システム導入に対する利用意向」についてお聞きします**

問7.1 今後、あなたの地域での新たな交通システムの導入に伴い、小型車両などが運行された場合の利用可能性について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つ選択)

利用する

利用しない

わからない



< 利用するを回答された方のみ >

利用料金がいくら位であれば利用するか、お答えください。(1つ選択)

路線バスより料金が高くても利用する

路線バスと同程度の料金であれば利用する

路線バスより安い料金であれば利用する

その他( \_\_\_\_\_ )

**地域交通に関するご意見、ご要望などを、ご自由にご記入ください**

Blank area for writing comments and requests, consisting of multiple horizontal lines.

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。



・目黒区内の地域別発送数および回収数、回収率は以下に示す通り

表-1 地域別の発送および回収状況

地域名	町目数	発送数			回収数	回収率	構成比率
		日本国籍	外国籍	合計			
駒場	4	125	12	137	54	39.4%	2.4%
青葉台	4	186	1	187	61	32.6%	2.7%
東山	3	235	2	237	100	42.2%	4.5%
大橋	2	128	3	131	43	32.8%	1.9%
上目黒	5	380	15	395	137	34.7%	6.1%
中目黒	5	300	9	309	121	39.2%	5.4%
三田	2	125	4	129	43	33.3%	1.9%
目黒	4	234	14	248	109	44.0%	4.9%
下目黒	6	399	20	419	156	37.2%	7.0%
中町	2	181	7	188	87	46.3%	3.9%
五本木	3	199	5	204	75	36.8%	3.3%
祐天寺	2	89	2	91	29	31.9%	1.3%
中央町	2	173	3	176	53	30.1%	2.4%
鷹番	3	194	5	199	67	33.7%	3.0%
目黒本町	6	489	17	506	196	38.7%	8.8%
原町	2	98	1	99	41	41.4%	1.8%
洗足	2	140	3	143	68	47.6%	3.0%
南	3	148	3	151	71	47.0%	3.2%
碑文谷	6	341	11	352	147	41.8%	6.6%
平町	2	120	2	122	46	37.7%	2.1%
大岡山	2	127	3	130	52	40.0%	2.3%
緑が丘	3	142	9	151	61	40.4%	2.7%
自由が丘	3	167	4	171	73	42.7%	3.3%
中根	2	152	6	158	63	39.9%	2.8%
柿の木坂	3	198	6	204	88	43.1%	3.9%
八雲	5	295	6	301	136	45.2%	6.1%
東が丘	2	135	4	139	55	39.6%	2.5%
目黒区以外	-	-	-	-	1	-	0.1%
無回答	-	-	-	-	6	-	0.3%
合計	88	5,500	177	5,677	2,239	39.4%	100.0%

## 2. アンケート集計結果および分析

- ・アンケート集計「単純集計」の結果を、グラフおよび集計表とあわせて、以下に示す。
- ・各設問の回答選択が択一または複数の場合、各項目で（択一回答）（複数回答）と記載する。

### （単純集計結果の整理方法）

- （1）図中のn（number of caseの略）は、その設問の回答者数を表している。
- （2）端数処理の方法により合計が100%にならない場合がある。
- （3）複数回答の場合は、回答者数（n）に対する割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- （4）回答割合の算出方法について、問1「回答者の属性」、問6「取組み方」、問7「利用意向」の択一回答の場合は「無回答」を含め、その他の択一回答の場合は「無回答」を除いた回答数における割合を算出している。また、複数回答や該当者のみの設問などの回答数が変わる場合は、「無回答」を除いた回答者数（n）における割合を算出している。
- （5）択一回答に対して、1人の回答者が複数の選択肢を回答している場合は、全ての回答を含めた上で、その回答数における割合を算出している。



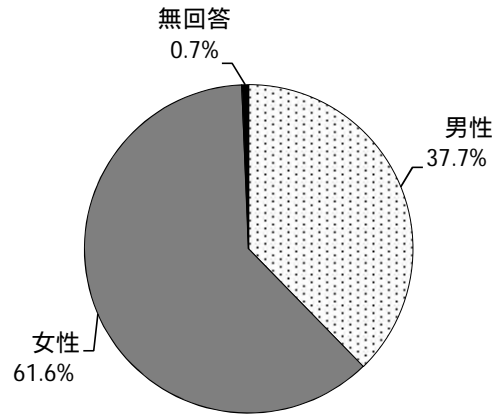
【問1】「あなた自身のこと」について

問 1.1 あなたの性別をお答えください。(択一回答)

性別は、「男性」が37.7%、「女性」が61.6%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,239	100.0%
男性	844	37.7%
女性	1,380	61.6%
無回答	15	0.7%

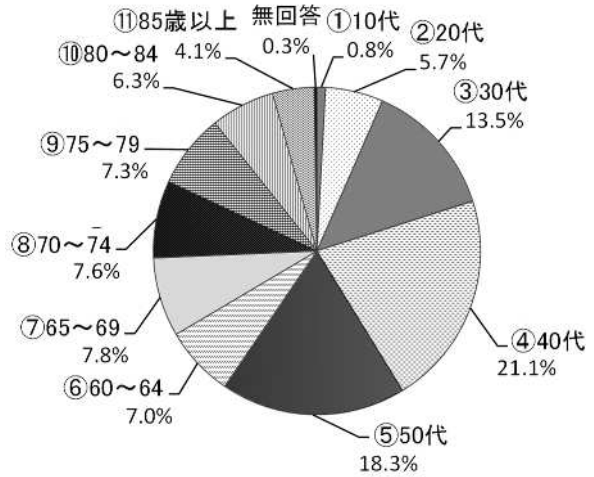


問 1.2 あなたの年代をお答えください。(択一回答)

年代は、「40代」が21.1%と最も多く、次いで「50代」が18.3%、70代が14.9%（「70～74歳」の7.6%と「75～79歳」の7.3%をあわせた割合）の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、33.1%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,239	100.0%
10代	19	0.8%
20代	128	5.7%
30代	303	13.5%
40代	473	21.1%
50代	410	18.3%
60～64歳	156	7.0%
65～69歳	175	7.8%
70～74歳	171	7.6%
75～79歳	164	7.3%
80～84歳	142	6.3%
85歳以上	92	4.1%
無回答	6	0.3%



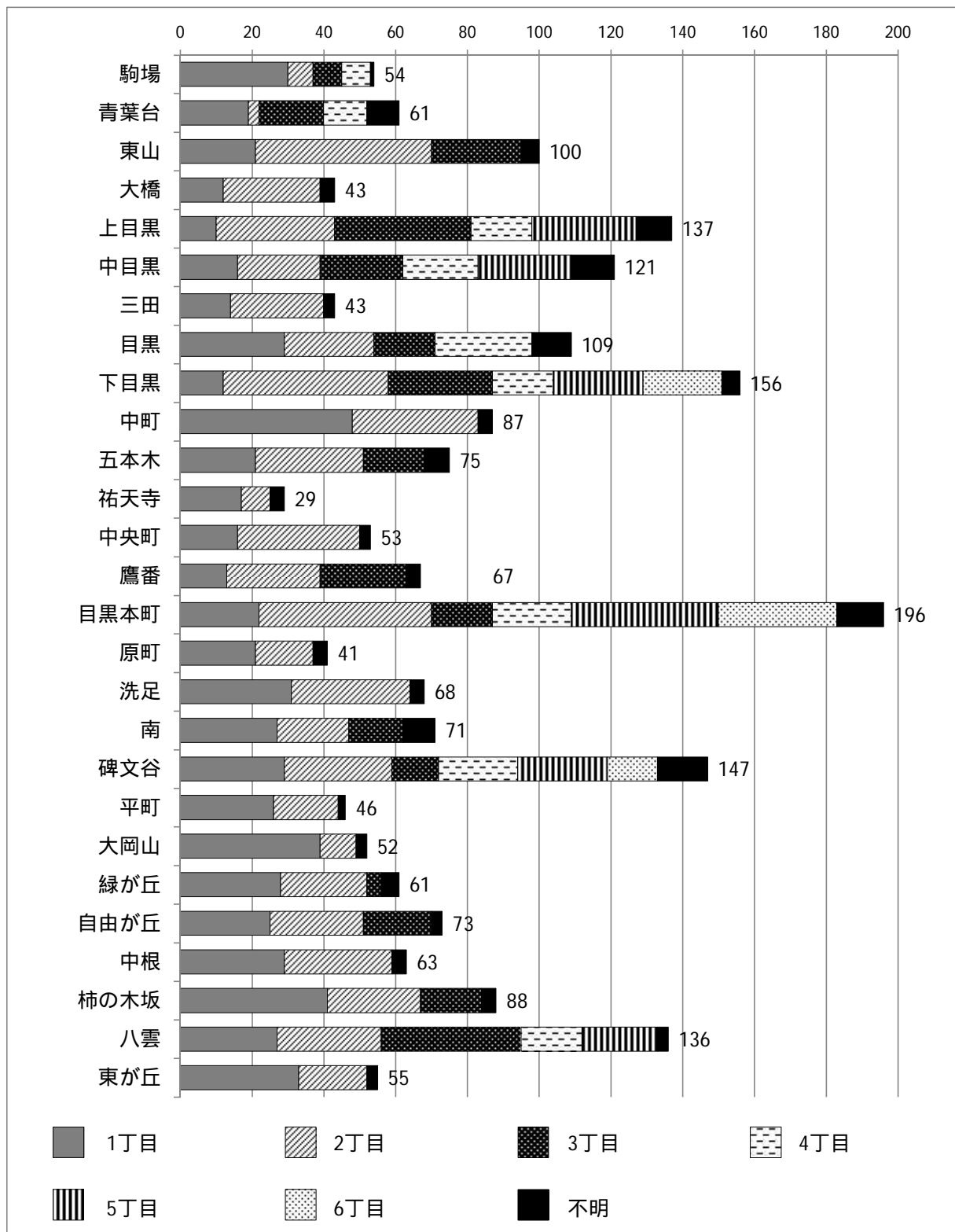
問 1.3 あなたの現住所をお答えください。(択一回答)

現住所は、「目黒本町」が8.8%と最も多く、次いで「下目黒」が7.0%、「碑文谷」が6.6%となっている。

選択肢	回答数	割合
計	2,239	100.0%
駒場	54	2.4%
青葉台	61	2.7%
東山	100	4.5%
大橋	43	1.9%
上目黒	137	6.1%
中目黒	121	5.4%
三田	43	1.9%
目黒	109	4.9%
下目黒	156	7.0%
中町	87	3.9%
五本木	75	3.3%
祐天寺	29	1.3%
中央町	53	2.4%
鷹番	67	3.0%
目黒本町	196	8.8%
原町	41	1.8%
洗足	68	3.0%
南	71	3.2%
碑文谷	147	6.6%
平町	46	2.1%
大岡山	52	2.3%
緑が丘	61	2.7%
自由が丘	73	3.3%
中根	63	2.8%
柿の木坂	88	3.9%
八雲	136	6.1%
東が丘	55	2.5%
目黒区以外	1	0.1%
無回答	6	0.3%

・各町名の町丁目別回答数（丁目が未入力な場合は、不明とする）

町名	丁目	回答数	町名	丁目	回答数	町名	丁目	回答数
駒場	1	30	中町	1	48	大岡山	1	39
	2	7		2	35		2	10
	3	8		不明	4		不明	3
	4	8	五本木	1	21	緑が丘	1	28
	不明	1		2	30		2	24
青葉台	1	19	3	17	3		4	
	2	3	不明	7	不明	5		
	3	18	祐天寺	1	17	自由が丘	1	25
	4	12		2	8		2	26
不明	9	不明		4	3		19	
東山	1	21	中央町	1	16		中根	不明
	2	49		2	34	1		29
	3	25		不明	3	2		30
	不明	5	鷹番	1	13	不明	4	
大橋	1	12		2	26	柿の木坂	1	41
	2	27		3	24		2	26
	不明	4		不明	4		3	17
上目黒	1	10	目黒本町	1	22		八雲	不明
	2	33		2	48	1		27
	3	38		3	17	2		29
	4	17		4	22	3		39
	5	29		5	41	4		17
	不明	10		6	33	5		21
中目黒	1	16	原町	不明	13	東が丘	不明	3
	2	23		1	21		1	33
	3	23		2	16		2	19
	4	21	不明	4	不明	3		
	5	26	洗足	1	31	目黒	1	29
不明	12	2		33	2		25	
三田	1	14	南	不明	4		3	17
	2	26		1	27		4	27
	不明	3		2	20		不明	11
目黒	1	29	碑文谷	3	15	下目黒	1	12
	2	25		不明	9		2	46
	3	17		1	29		3	29
	4	27		2	30		4	17
	不明	11	3	13	5		25	
下目黒	1	12	4	22	6		22	
	2	46	5	25	平町	1	26	
	3	29	6	14		2	18	
	4	17	不明	14		不明	2	
	5	25	平町	1	26	平町	1	26
	6	22		2	18		2	18
不明	5	不明	2	2	不明	2		

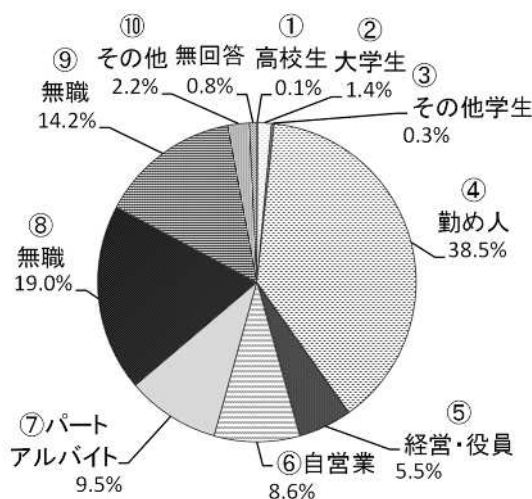


問 1.4 あなたのご職業等をお答えください。(択一回答)

職業は、「勤め人(会社員・公務員等)」が38.5%と最も多く、次いで「無職(専業主婦・主夫)」が19.0%、「無職(定年退職者等を含む)」が14.2%で、無職をあわせた割合は33.2%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,244	100.0%
高校生	2	0.1%
大学生	31	1.4%
その他学生 (予備校含む)	6	0.3%
勤め人 (会社員・公務員等)	863	38.5%
会社経営・役員	123	5.5%
自営業主 (農林業含む)	194	8.6%
パート・アルバイト	213	9.5%
無職 (専業主婦・主夫)	427	19.0%
無職 (定年退職者等含む)	319	14.2%
その他	49	2.2%
無回答	17	0.8%

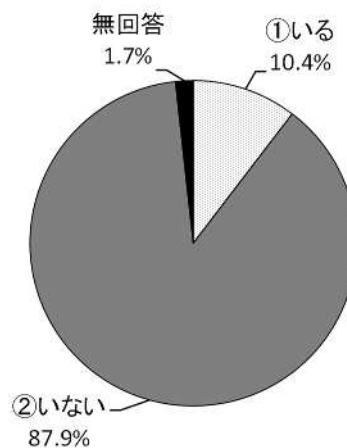


問 1.5 5歳以下の児童や乳幼児等との同居についてお答えください。(択一回答)

5歳以下の児童や乳幼児等との同居については、「いる」が10.4%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,239	100.0%
いる	232	10.4%
いない	1,968	87.9%
無回答	39	1.7%



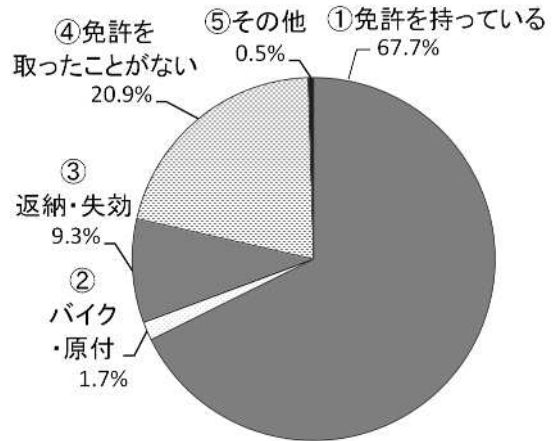
【問2】「あなたの移手段」について

問2.1 運転免許の保有状況をお答えください。(択一回答)

運転免許保有状況は、「自動車の免許を持っている」が67.7%で、現在免許を持っていない人(「以前持っていたが返納した、または失効して今はない」、「運転免許をとったことがない」)の割合は30.2%となっている。

n=2,115

選択肢	回答数	割合
計	2,116	100.0%
自動車の免許を持っている	1,432	67.7%
自動車はないが、バイク・原付の運転免許を持っている	35	1.7%
以前は持っていたが返納したまたは失効して今はない	196	9.3%
運転免許をとったことがない	443	20.9%
その他	10	0.5%



問2.2 公共交通(鉄道、バス、タクシー)以外で、利用できる交通手段をお答えください。(複数回答)

公共交通(鉄道、バス、タクシー)以外で、利用できる交通手段は、「自転車」が42.6%で、次いで「自家用車(自分の運転)」が36.4%となっている。一方、「何もない(徒歩のみを含む)」は、27.9%となっている。

n=2,001

選択肢	回答数	割合
計	2,577	-
自家用車(自分の運転)	729	36.4%
自家用車(家族・知人による送迎)	354	17.7%
バイク・原付	53	2.6%
自転車	853	42.6%
何もない(徒歩のみを含む)	559	27.9%
その他	29	1.4%

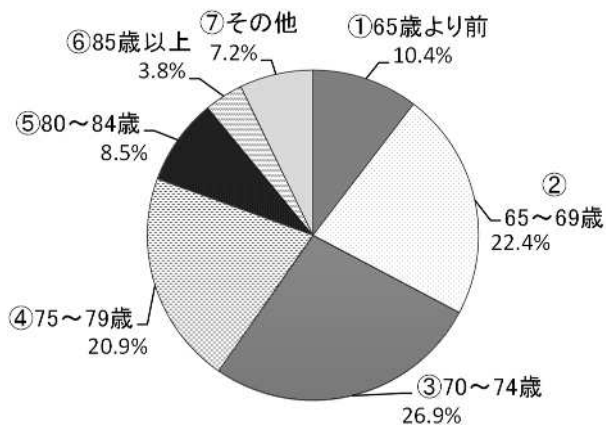
< 「 自家用車（自分の運転）」の回答者のみ >

・自家用車の運転はいつまで続けたいかお答えください。（択一回答）

運転を続ける年齢は、「 70～74歳」が26.9%、「 65歳～69歳」が22.4%、「 75～79歳」が20.9%となっている。

n=682

選択肢	回答数	割合
計	684	100.0%
65歳より前	71	10.4%
65～69歳	153	22.4%
70～74歳	184	26.9%
75～79歳	143	20.9%
80～84歳	58	8.5%
85歳以上	26	3.8%
その他	49	7.2%



・運転を辞めた場合、利用すると思われる交通手段をお答えください。（複数回答）

運転を辞めた場合の交通手段は、「 バス」が84.3%、「 鉄道」が81.0%で、次いで「 タクシー」が61.1%となっている。

n=689

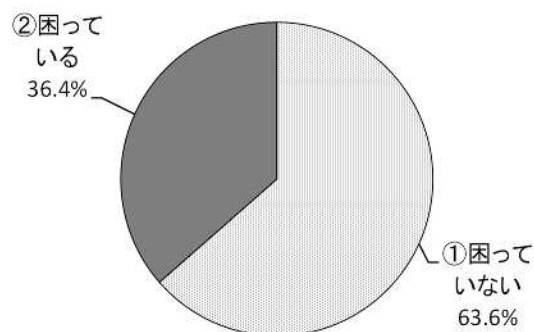
選択肢	回答数	割合
計	1,957	-
自家用車(家族・知人による送迎)	144	20.9%
鉄道	558	81.0%
バス	581	84.3%
タクシー	421	61.1%
自転車	241	35.0%
何もない(徒歩のみを含む)	3	0.4%
その他	9	1.3%

< 「 自家用車（家族・知人による送迎）」の回答者のみ >

・送迎の依頼にあたって何か困っていることはありますか。（択一回答）

自家用車（家族・知人による送迎）による送迎依頼では、「特に困っていることはない」が63.6%で、「困っていることがある」が36.4%となっている。

n=354		
選択肢	回答数	割合
計	354	100.0%
特に困っていることはない	225	63.6%
困っていることがある	129	36.4%



< 「 困っていることがある」の回答者のみ >

・どのようなことで困っているか、お答えください。（複数回答）

困りごとの内容は、「曜日・時間等の制約がある」が62.8%で、次いで「家族・知人に頼みづらい」が47.3%となっている。

n=129		
選択肢	回答数	割合
計	184	-
曜日・時間等の制約がある	81	62.8%
行ける範囲が限定される	30	23.3%
家族・知人に頼みづらい	61	47.3%
その他	12	9.3%



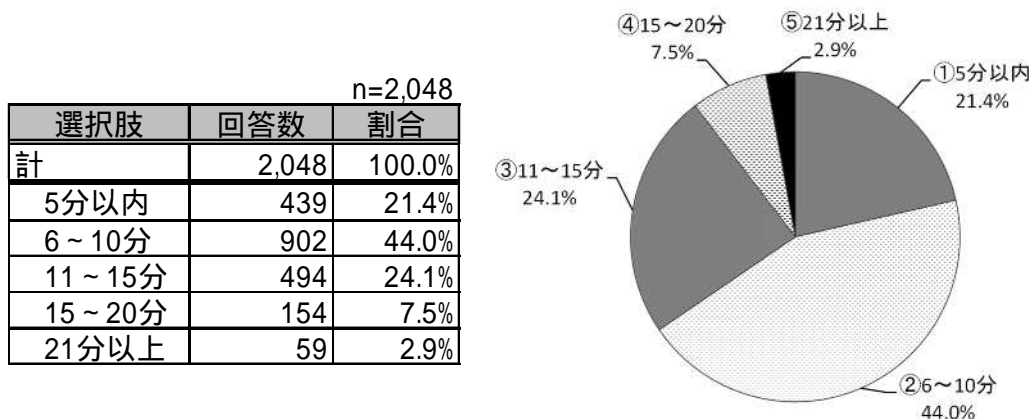
【問3】「公共交通の利用状況」について

問3.1 あなたの自宅から最も利用する駅やバス停についてお答えください。また、それぞれの駅やバス停に徒歩で向かう場合にかかる時間や利便性についてもお答えください。

《鉄道》

・自宅から徒歩でかかる時間（択一回答）

自宅から鉄道駅までに徒歩でかかる時間は、「6～10分」が44.0%と最も多く、10分以内の割合は65.4%となっている。



・利便性（複数回答）

鉄道駅への利便性では、「無理なく歩ける」が73.0%と最も多く、次いで「駅まで距離があり不便」が16.9%、「坂道や段差があり不便」が10.9%となっている。

n=2,009

選択肢	回答数	割合
計	2,249	-
無理なく歩ける	1,467	73.0%
駅まで距離があり不便	340	16.9%
坂道や段差があり不便	219	10.9%
歩道が十分に確保されていないため不便	90	4.5%
身体的に歩行が困難	59	2.9%
その他	74	3.7%

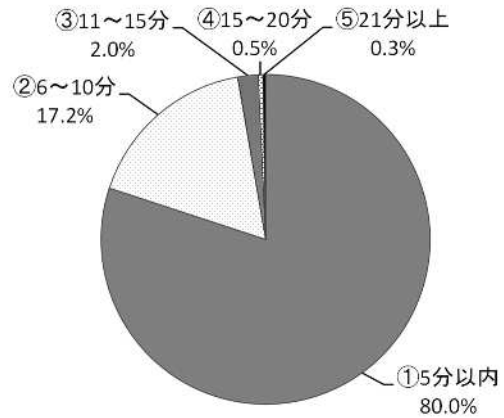
《バス》

・ 自宅から徒歩でかかる時間（択一回答）

自宅からバス停までに徒歩でかかる時間は、「 5分以内」が80.0%と最も多く、10分以内の割合は、97.2%となっている。

n=1,498

選択肢	回答数	割合
計	1,498	100.0%
5分以内	1,199	80.0%
6～10分	258	17.2%
11～15分	30	2.0%
15～20分	7	0.5%
21分以上	4	0.3%



・ 利便性（複数回答）

バス停への利便性では、「 無理なく歩ける」が90.7%と最も多い。一方で何かしらの不便を感じている人（「 バス停まで距離があり不便」、「 坂道や段差があり不便」、「 歩道が十分に確保されてないため不便」、「 身体的に歩行が困難」）の割合は2～4%となっている。

n=1,512

選択肢	回答数	割合
計	1,571	-
無理なく歩ける	1,372	90.7%
バス停まで距離があり不便	58	3.8%
坂道や段差があり不便	36	2.4%
歩道が十分に確保されてないため不便	28	1.9%
身体的に歩行が困難	37	2.4%
その他	40	2.6%

【問4】「あなたの日常移動」について

問4.1 あなたの日常移動について、通勤・通学や買い物、通院など「移動の目的」ごとに回答ください。「移動の目的」があてはまらない場合は、回答しないで結構です。それぞれの目的ごとに、移動先や移動手段、おおよその移動頻度、移動時間帯(普段外出される時間帯)をお答えください。

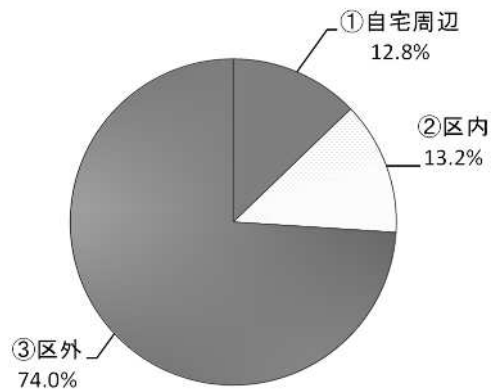
《通勤・通学》

・移動先(択一回答)

通勤・通学の移動先は、「区外」が74.0%と最も多く、「区内」が13.2%、「自宅周辺」が12.8%となっている。

n=1,478

選択肢	回答数	割合
計	1,484	100.0%
自宅周辺	190	12.8%
区内	196	13.2%
区外	1,098	74.0%



・移動手段(複数回答)

通勤・通学の移動手段は、「鉄道」が68.7%と最も多く、次いで「バス」が21.3%、「自転車」が16.8%となっている。

n=1,542

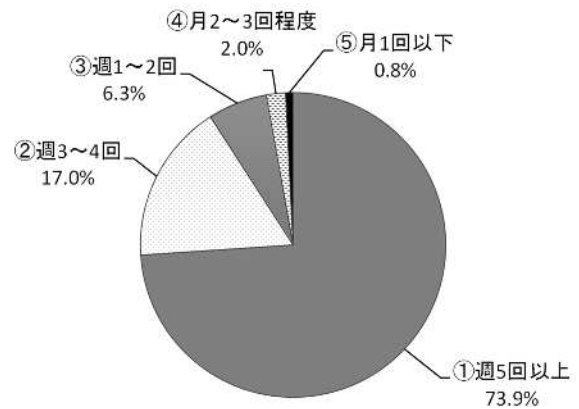
選択肢	回答数	割合
計	2,034	-
自家用車	101	6.5%
家族・知人による送迎	19	1.2%
訪問施設のサービスによる送迎	11	0.7%
鉄道	1,060	68.7%
バス	329	21.3%
タクシー	88	5.7%
バイク・原付	21	1.4%
自転車	259	16.8%
徒歩のみ	130	8.4%
その他	16	1.0%

・移動頻度（択一回答）

通勤・通学の移動頻度は、「週5回以上」が73.9%と最も多く、次いで「週3～4回」が17.0%となっている。

n=1,524

選択肢	回答数	割合
計	1,527	100.0%
週5回以上	1,129	73.9%
週3～4回	259	17.0%
週1～2回	96	6.3%
月2～3回程度	31	2.0%
月1回以下	12	0.8%

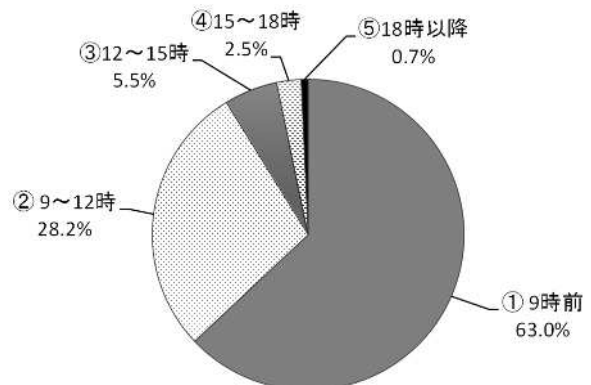


・行きの移動時間帯（択一回答）

通勤・通学の行きの移動時間帯は、「9時前」が63.0%と最も多く、午前中の割合は、91.2%となっている。

n=1,518

選択肢	回答数	割合
計	1,537	100.0%
9時前	968	63.0%
9～12時	434	28.2%
12～15時	85	5.5%
15～18時	39	2.5%
18時以降	11	0.7%

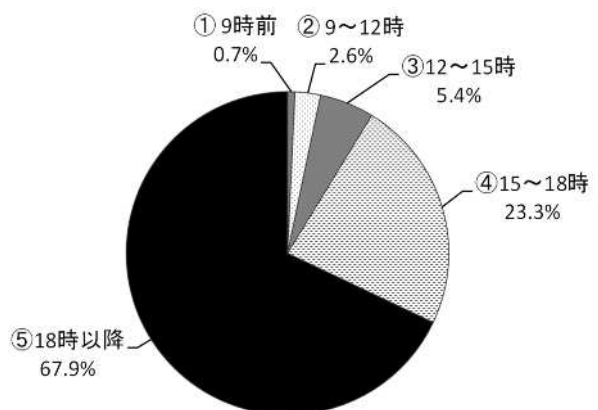


・帰りの移動時間帯（択一回答）

通勤・通学の帰りの移動時間帯は、「18時以降」が67.9%と最も多く、15時以降の割合は、91.2%となっている。

n=1,475

選択肢	回答数	割合
計	1,488	100.0%
9時前	11	0.7%
9～12時	38	2.6%
12～15時	81	5.4%
15～18時	347	23.3%
18時以降	1,011	67.9%



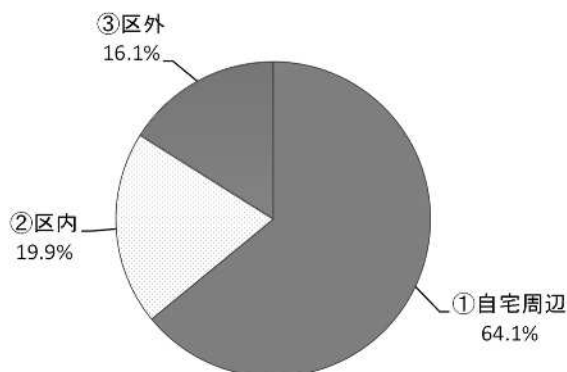
《買い物》

・移動先（択一回答）

買い物の移動先は、「 自宅周辺」が 64.1%と最も多く、「 区内」が 19.9%、「 区外」が 16.1%となっている。

n=1,976

選択肢	回答数	割合
計	2,073	100.0%
自宅周辺	1,328	64.1%
区内	412	19.9%
区外	333	16.1%



・移動手段（複数回答）

買い物の移動手段は、「 徒歩のみ」が 36.2%で、次いで「 自転車」が 34.1%となっている。

n=2,119

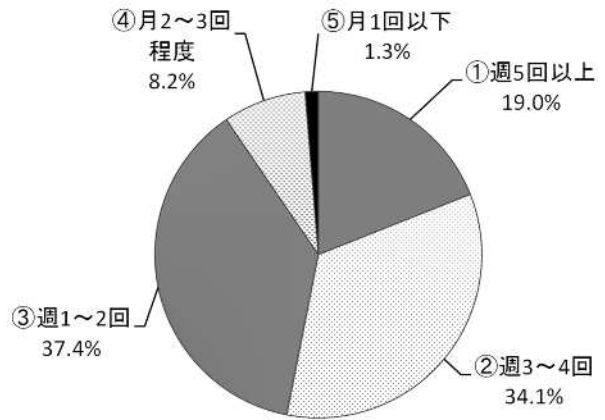
選択肢	回答数	割合
計	2,657	-
自家用車	283	13.4%
家族・知人による送迎	57	2.7%
訪問施設のサービスによる送迎	7	0.3%
鉄道	338	16.0%
バス	344	16.2%
タクシー	91	4.3%
バイク・原付	31	1.5%
自転車	722	34.1%
徒歩のみ	768	36.2%
その他	16	0.8%

・移動頻度（択一回答）

買い物の頻度は、「週1～2回」が37.4%で、次いで「週3～4回」が34.1%となっている。

n=2,079

選択肢	回答数	割合
計	2,082	100.0%
週5回以上	396	19.0%
週3～4回	710	34.1%
週1～2回	778	37.4%
月2～3回程度	171	8.2%
月1回以下	27	1.3%

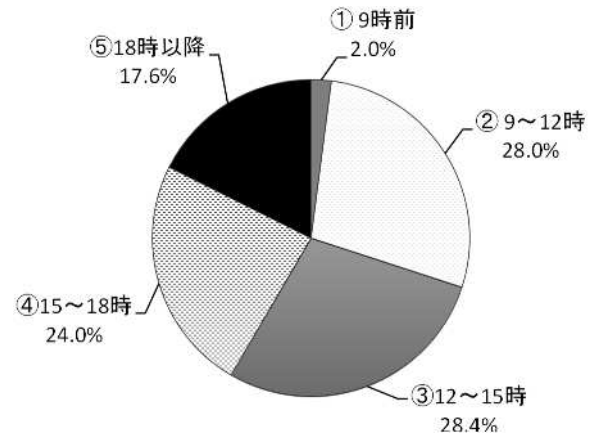


・行きの移動時間帯（択一回答）

買い物の行きの移動時間帯は、「12～15時」が28.4%で、次いで「9～12時」が28.0%、「15～18時」が24.0%となっている。

n=1,985

選択肢	回答数	割合
計	2,049	100.0%
9時前	42	2.0%
9～12時	573	28.0%
12～15時	582	28.4%
15～18時	491	24.0%
18時以降	361	17.6%

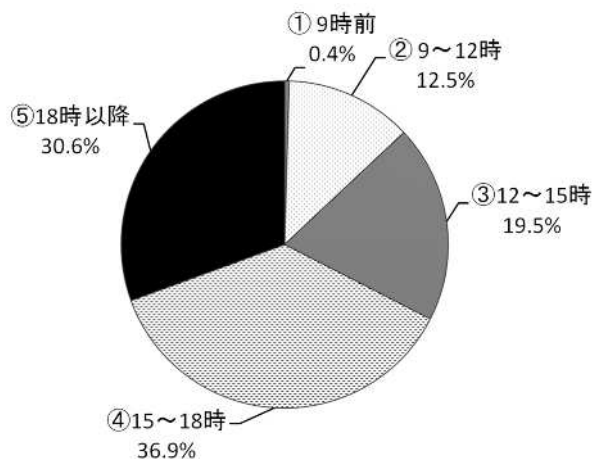


・帰りの移動時間帯（択一回答）

買い物の帰りの移動時間帯は、「15～18時」が36.9%で、次いで「18時以降」が30.6%となっている。

n=1,955

選択肢	回答数	割合
計	2,008	100.0%
9時前	9	0.4%
9～12時	252	12.5%
12～15時	392	19.5%
15～18時	741	36.9%
18時以降	614	30.6%



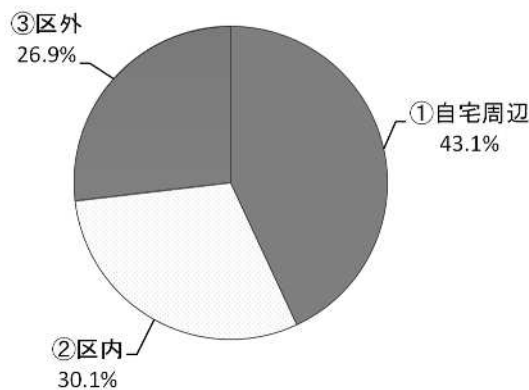
《通院》

・移動先（択一回答）

通院の移動先は、「自宅周辺」が43.1%で、次いで「区内」が30.1%、「区外」が、26.9%となっている。

n=1,704

選択肢	回答数	割合
計	1,746	100.0%
自宅周辺	752	43.1%
区内	525	30.1%
区外	469	26.9%



・移動手段（複数回答）

通院での移動手段は、「徒歩のみ」が33.1%で、次いで「鉄道」が25.6%、「自転車」が24.9%となっている。

n=1,784

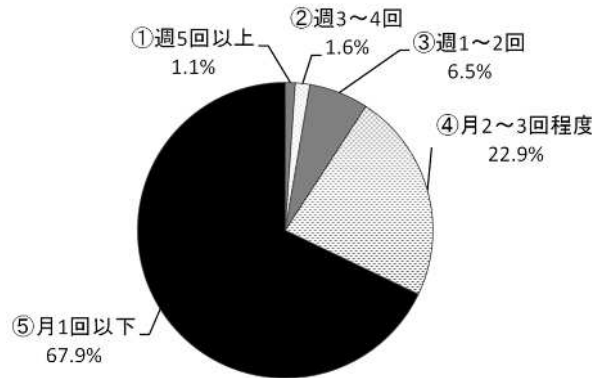
選択肢	回答数	割合
計	2,194	-
自家用車	118	6.6%
家族・知人による送迎	44	2.5%
訪問施設のサービスによる送迎	9	0.5%
鉄道	456	25.6%
バス	330	18.5%
タクシー	168	9.4%
バイク・原付	18	1.0%
自転車	445	24.9%
徒歩のみ	590	33.1%
その他	16	0.9%

・移動頻度（択一回答）

通院の移動頻度は、「月1回以下」が67.9%と最も多く、次いで「月2～3回程度」が22.9%で、月3回以下の割合は、90.8%となっている。

n=1,747

選択肢	回答数	割合
計	1,751	100.0%
週5回以上	19	1.1%
週3～4回	28	1.6%
週1～2回	114	6.5%
月2～3回程度	401	22.9%
月1回以下	1,189	67.9%

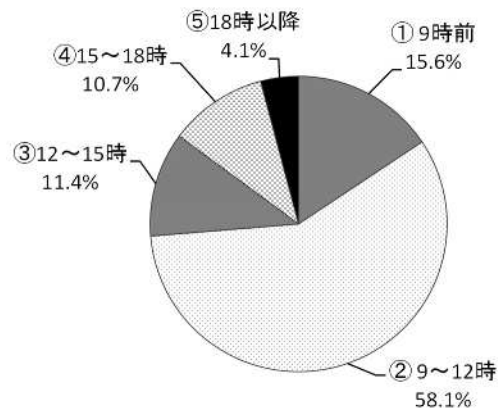


・行きの移動時間帯（択一回答）

通院の行きの移動時間帯は、「9～12時」が58.1%と最も多く、「9時前」の15.6%とあわせると午前中の割合は73.7%となっている。

n=1,666

選択肢	回答数	割合
計	1,695	100.0%
9時前	265	15.6%
9～12時	984	58.1%
12～15時	194	11.4%
15～18時	182	10.7%
18時以降	70	4.1%

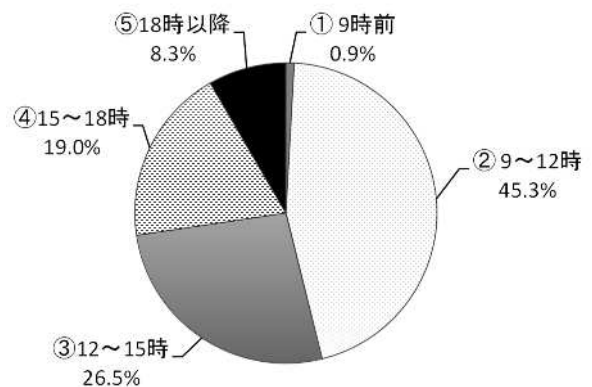


・帰りの移動時間帯（択一回答）

通院の帰りの移動時間帯は、「9～12時」が45.3%と最も多く、次いで「12～15時」が26.5%、「15～18時」が19.0%となっている。

n=1,571

選択肢	回答数	割合
計	1,593	100.0%
9時前	14	0.9%
9～12時	721	45.3%
12～15時	422	26.5%
15～18時	303	19.0%
18時以降	133	8.3%





《その他》

・その他目的施設の名称

その他目的における移動先の施設を分類すると、「文化教養・スポーツ施設」が42.7%と最も多く、次いで「福祉施設」が11.1%、「商業施設」が8.4%、「医療施設」が7.7%となっている。

n=399

選択肢	回答数	割合
計	431	100.0%
公共施設	22	5.1%
文化教養・スポーツ施設	184	42.7%
教育施設	9	2.1%
公園	5	1.2%
商業施設	36	8.4%
医療施設	33	7.7%
福祉施設	48	11.1%
その他	94	21.8%

施設分類の内容例

公共施設：区役所、区民センターなど

文化教養・スポーツ施設：守屋図書館、碑文谷体育館、スポーツジムなど

教育施設：大学、高校、小学校など

公園：碑文谷公園など

商業施設：イオン碑文谷店、東急百貨店など

医療施設：目黒病院、日扇会リハビリステーションなど

福祉施設：目黒区立老人いこいの家、保育園・幼稚園など

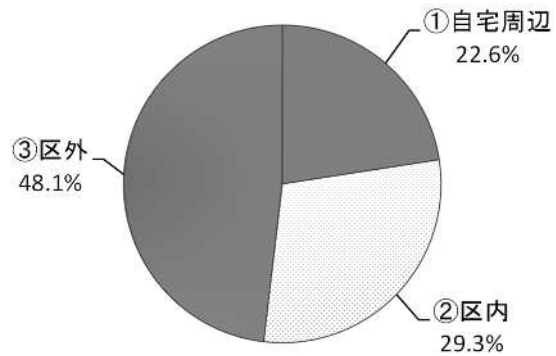
その他：施設が特定できないもの（実家、散歩など）

・移動先（択一回答）

その他目的における移動先は、「区外」が 48.1%で、「区内」が 29.3%、「自宅周辺」が 22.6%となっている。

n=502

選択肢	回答数	割合
計	532	100.0%
自宅周辺	120	22.6%
区内	156	29.3%
区外	256	48.1%



・移動手段（複数回答）

その他目的における移動手段は、「鉄道」が 35.9%で、次いで「バス」が 26.0%、「自転車」が 21.4%、「徒歩のみ」が 17.8%となっている。

n=585

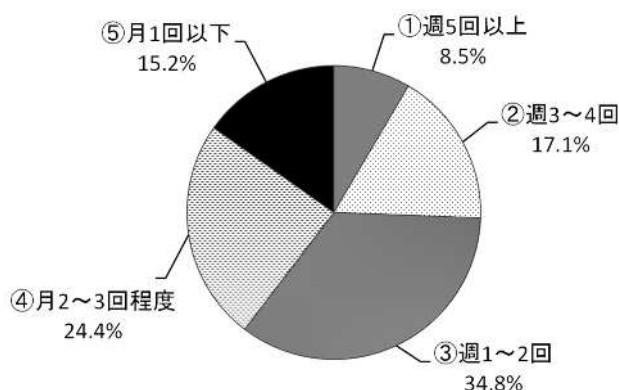
選択肢	回答数	割合
計	763	-
自家用車	77	13.2%
家族・知人による送迎	14	2.4%
訪問施設のサービスによる送迎	12	2.1%
鉄道	210	35.9%
バス	152	26.0%
タクシー	47	8.0%
バイク・原付	6	1.0%
自転車	125	21.4%
徒歩のみ	104	17.8%
その他	16	2.7%

・移動頻度（択一回答）

その他目的における移動頻度は、「週1～2回」が34.8%で、次いで「月2～3回程度」が24.4%、「週3～4回」が17.1%となっている。

n=576

選択肢	回答数	割合
計	578	100.0%
週5回以上	49	8.5%
週3～4回	99	17.1%
週1～2回	201	34.8%
月2～3回程度	141	24.4%
月1回以下	88	15.2%

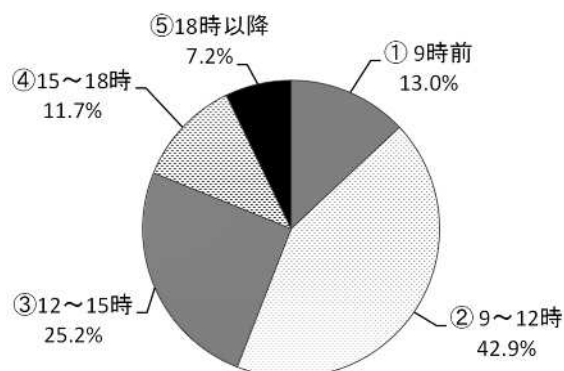


・行きの移動時間帯（択一回答）

その他目的の行きの移動時間帯は、「9～12時」が42.9%で、次いで「12～15時」が25.2%となっている。

n=562

選択肢	回答数	割合
計	583	100.0%
9時前	76	13.0%
9～12時	250	42.9%
12～15時	147	25.2%
15～18時	68	11.7%
18時以降	42	7.2%

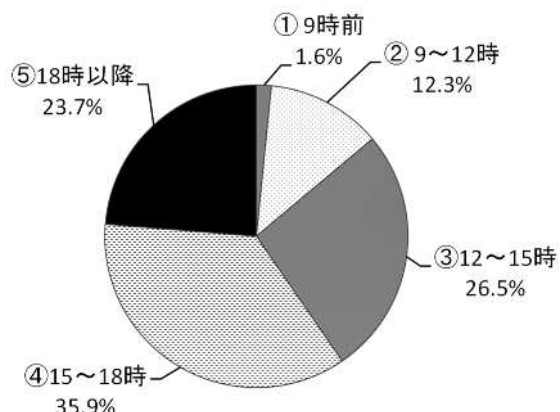


・帰りの移動時間帯（択一回答）

その他目的の帰りの移動時間帯は、「15～18時」が35.9%で、次いで「12～15時」が26.5%、「18時以降」が23.7%となっている。

n=556

選択肢	回答数	割合
計	569	100.0%
9時前	9	1.6%
9～12時	70	12.3%
12～15時	151	26.5%
15～18時	204	35.9%
18時以降	135	23.7%



【問5】「日常の移動で不便に感じていること」について

問5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。(複数回答)

日常の外出時における不便状況では、「とくに不便はない」が57.0%と最も多い。一方、不便と感じていることとしては、「自宅から駅やバス停まで遠く感じる」が13.6%で、次いで「自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある」が11.6%、「自宅から駅やバス停までの道路で車(自転車含む)の交通量が多い、またはスピードを出すため、危ない」が11.3%となっている。また、「タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる」が11.4%、「タクシー料金が安い」が8.9%といった意見もある。

n=2,133

選択肢	回答数	割合
計	3,673	-
とくに不便はない	1,216	57.0%
自宅から駅やバス停まで遠く感じる	291	13.6%
自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある	248	11.6%
自宅から駅やバス停までの道路の幅員が狭く歩きにくい	201	9.4%
自宅から駅やバス停までの道路上に電柱等があるため歩きにくい	150	7.0%
自宅から駅やバス停までの道路で車(自転車含む)の交通量が多い、またスピードを出すため、危ない	242	11.3%
バスの運行本数が少ない	213	10.0%
バスは移動に時間がかかる	127	6.0%
バスが時間通りに来ない	211	9.9%
バスの乗降りの段差が大変	58	2.7%
タクシー料金が安い	190	8.9%
タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる	244	11.4%
使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない	115	5.4%
その他	167	7.8%

< 「 使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない」の回答者のみ >

・ 使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない代わりに使う移動手段をお答えください。

(複数回答)

公共交通の代替手段は、「 タクシー」が 44.2%と最も多く、次いで「 自転車」が 38.1%となっている。

n=113

選択肢	回答数	割合
計	143	-
自家用車(自分の運転)	13	11.5%
自家用車(家族・知人による送迎)	17	15.0%
タクシー	50	44.2%
バイク・原付	3	2.7%
自転車	43	38.1%
何もない(徒歩のみを含む)	10	8.8%
その他	7	6.2%

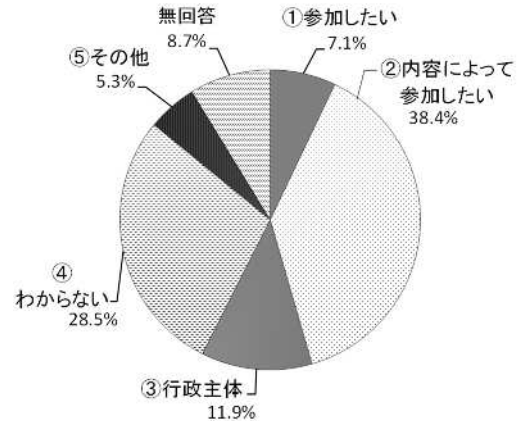
【問6】「小型車両などの新たな交通システム導入に関する取組み方」について

問6.1 新たな交通システム導入に関する検討への参加について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(択一回答)

検討への参加の考えは、「検討の内容によって参加したい」が38.4%となっており、「検討に参加したい」の7.1%をあわせた割合は45.5%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,244	100.0%
検討に参加したい	159	7.1%
検討の内容によって参加したい	862	38.4%
行政主体で検討するべきである	268	11.9%
わからない	639	28.5%
その他	120	5.3%
無回答	196	8.7%

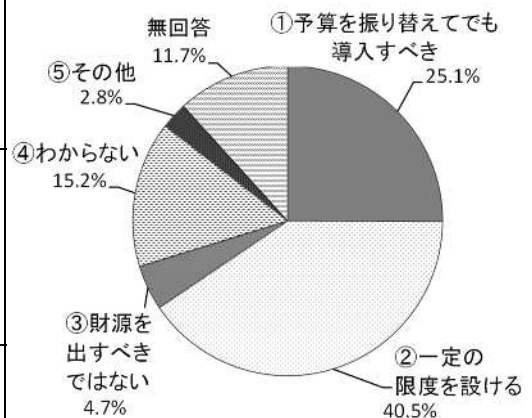


問6.2 新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(択一回答)

財源の使い方は、「行政の支援対象を絞って財源を出す場合は一定の限度を設ける方がよい」が40.5%と最も多く、「他の事業から予算を振り替えてでも、財源の大部分を行政が出すべき」の25.1%とあわせた割合は65.6%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,309	100.0%
バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮のため、他の事業から予算を振り替えてでも、運行経費等の財源の大部分を行政が出し、新たな交通システムを導入すべきである	579	25.1%
バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮の点から新たな交通システムの導入は望ましいが、行政が支援する対象を絞るべきで、財源を出す場合は一定の限度を設ける方がよい	934	40.5%
バス停・駅への移動に不便を感じる人や高齢者等への配慮のために新たな交通システム導入の事業を行う場合であっても、新たに行政の財源を出すべきではない	109	4.7%
わからない	352	15.2%
その他	64	2.8%
無回答	271	11.7%



< 「 財源を出す場合は一定の限度を設けるほうがよい」の回答者のみ >

・どのような限度が適当と思うか、お答えください。(複数回答)

財源に対する一定の限度については、「 高齢者等の利用者への利用費に対する補助」が 57.9%と最も多く、次いで「 車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)」が 41.7%、「 停留所等の設置にかかわる費用」が 33.6%となっている。

n=907

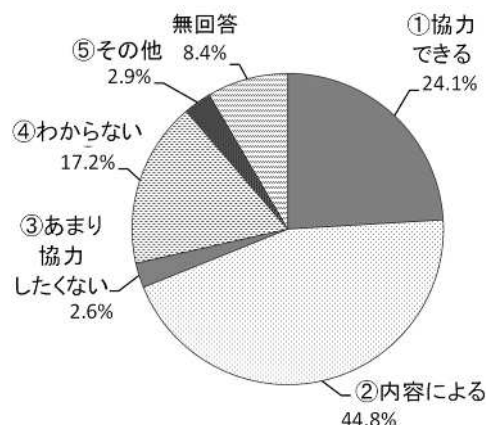
選択肢	回答数	割合
計	1,494	-
車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)	378	41.7%
停留所等の設置にかかわる費用	305	33.6%
利用促進PRにかかわる費用	218	24.0%
高齢者等の利用者への利用費に対する補助	525	57.9%
その他	68	7.5%

問 6.3 将来、小型車両などの新たな交通システム導入に伴い、住宅街で運行されることになった場合、運行への協力(自宅周辺での停留所の設置などへの理解)ができるかどうか、お答えください。(択一回答)

運行への協力については、「 内容によって協力を検討する」が 44.8%と最も多く、「 協力することができる」の 24.1%とあわせた割合は 68.9%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,244	100.0%
協力することができる	540	24.1%
内容によっては協力を検討する	1,006	44.8%
あまり協力したくない	58	2.6%
わからない	386	17.2%
その他	65	2.9%
無回答	189	8.4%



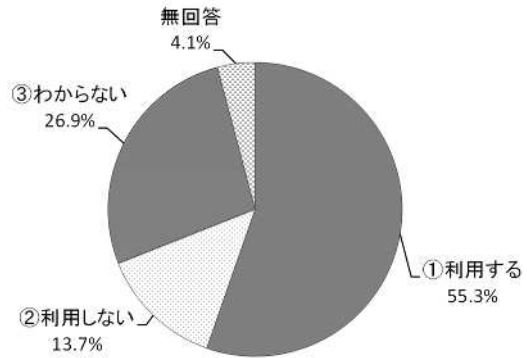
【問7】「目黒区の今後の新たな交通システム導入に対する利用意向」について

問7.1 今後、あなたの地域での新たな交通システムの導入に伴い、小型車両などが運行された場合の利用可能性について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(択一回答)

利用可能性の考えは、「利用する」が55.3%と最も多く、「わからない」が26.9%、「利用しない」が13.7%となっている。

n=2,239

選択肢	回答数	割合
計	2,248	100.0%
利用する	1,244	55.3%
利用しない	307	13.7%
わからない	604	26.9%
無回答	93	4.1%



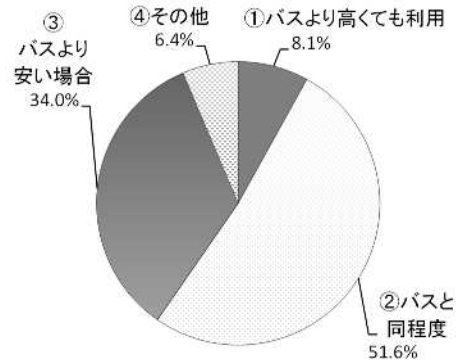
< 「利用する」の回答者のみ >

・利用料金がいくら位であれば利用するか、お答えください。(択一回答)

許容できる料金は、「路線バスと同程度であれば利用する」との回答が51.6%と最も多く、次いで「路線バスより安い料金であれば利用する」が34.0%となっており、バス料金と同程度かそれ以下の料金であれば利用するという割合は、85.6%となっている。

n=1,240

選択肢	回答数	割合
計	1,254	100.0%
路線バスより料金が高くても利用する	101	8.1%
路線バスと同程度の料金であれば利用する	647	51.6%
路線バスより安い料金であれば利用する	426	34.0%
その他	80	6.4%





### 3. 区民ニーズによる分析

区民アンケート調査結果より、年齢別や地域別での不便な状況や新たな交通システム導入に対するニーズを抽出するため、年齢層や各地域のクロス集計結果を基に分析整理を行った。

(クロス集計結果の整理方法)

- (1) 端数処理の方法により合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の場合は、回答者数(n)に対する割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- (3) 回答割合の算出方法について、問6「取組み方」、問7「利用意向」の択一回答の場合は「無回答」を含め、その他の択一回答の場合は「無回答」を除いた回答数における割合を算出している。また、複数回答や該当者のみの設問などの回答数が変わる場合は、「無回答」を除いた回答者数における割合を算出している。
- (4) 択一回答に対して、1人の回答者が複数の選択肢を回答している場合は、全ての回答を含めた上で、その回答数における割合を算出している。
- (5) 各グラフにおける選択肢の上位3位は、グレーハッチで表示している。(0.0%の場合は除く)ただし、「5歳以下の児童や乳幼児等との同居有無」とのクロス集計では上位1位をグレーハッチで表示している。
- (6) クロス集計項目である「年代(問1.2)」「居住地区(問1.3)」「5歳以下の児童や乳幼児等との同居有無(問1.5)」のそれぞれの設問における回答者数と回答数計を、次頁に示す。なお回答者数と回答数計は、クロス集計項目と各設問をクロスさせるため、単純集計の数値と異なる場合がある。

(1) 年齢別の不便な状況やニーズ

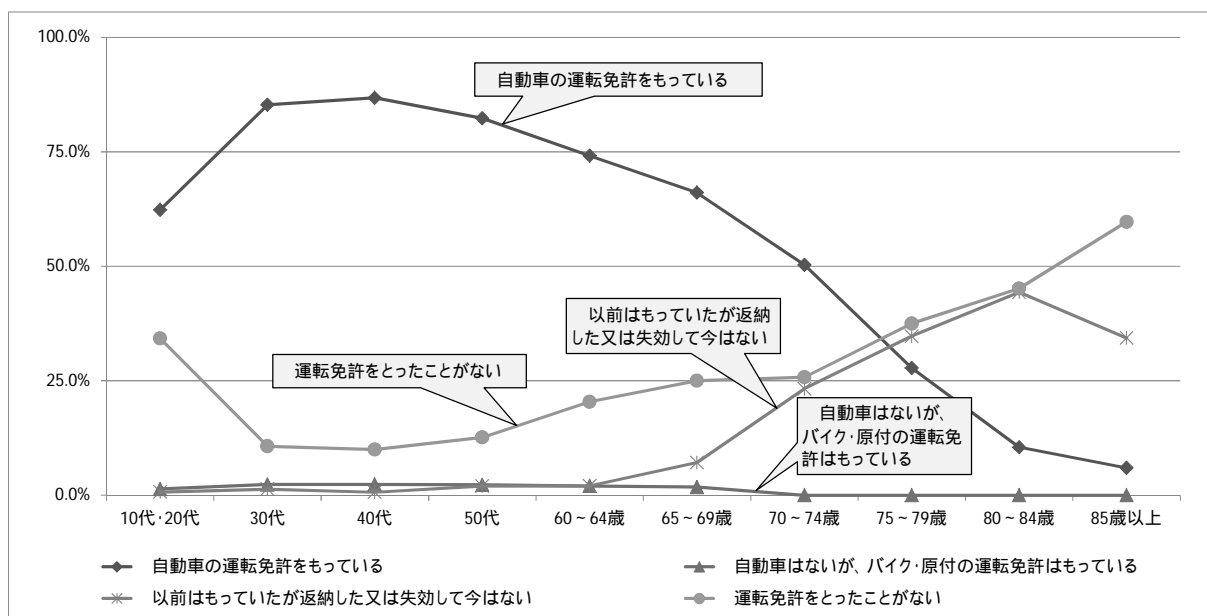
1) 運転免許の保有状況

「運転免許保有状況（問 2.1）」では、75 歳以上から免許保有の有無の割合が逆転しており、75 歳以上の年代では「以前は持っていたが返納した又は失効して今はない」や「運転免許をとったことがない」など移動手段が限られることから、移動支援の必要性が高いと考えられる。

アンケート集計結果（年齢別）

問 2.1 運転免許の保有状況をお答えください。（択一回答）（抜粋）

	自動車の運転免許をもっている		自動車はないが、バイク・原付の運転免許をもっている		以前はもっていたが返納した又は失効して今はない		運転免許をとったことがない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	91	62.3%	2	1.4%	1	0.7%	50	34.2%
30代	255	85.3%	7	2.3%	4	1.3%	32	10.7%
40代	401	86.8%	11	2.4%	3	0.6%	46	10.0%
50代	326	82.3%	9	2.3%	8	2.0%	50	12.6%
60～64歳	109	74.1%	3	2.0%	3	2.0%	30	20.4%
65～69歳	111	66.1%	3	1.8%	12	7.1%	42	25.0%
70～74歳	80	50.3%	0	0.0%	37	23.3%	41	25.8%
75～79歳	40	27.8%	0	0.0%	50	34.7%	54	37.5%
80～84歳	13	10.5%	0	0.0%	55	44.4%	56	45.2%
85歳以上	4	6.0%	0	0.0%	23	34.3%	40	59.7%
計（年齢不明含む）	1,432	67.7%	35	1.7%	196	9.3%	443	20.9%



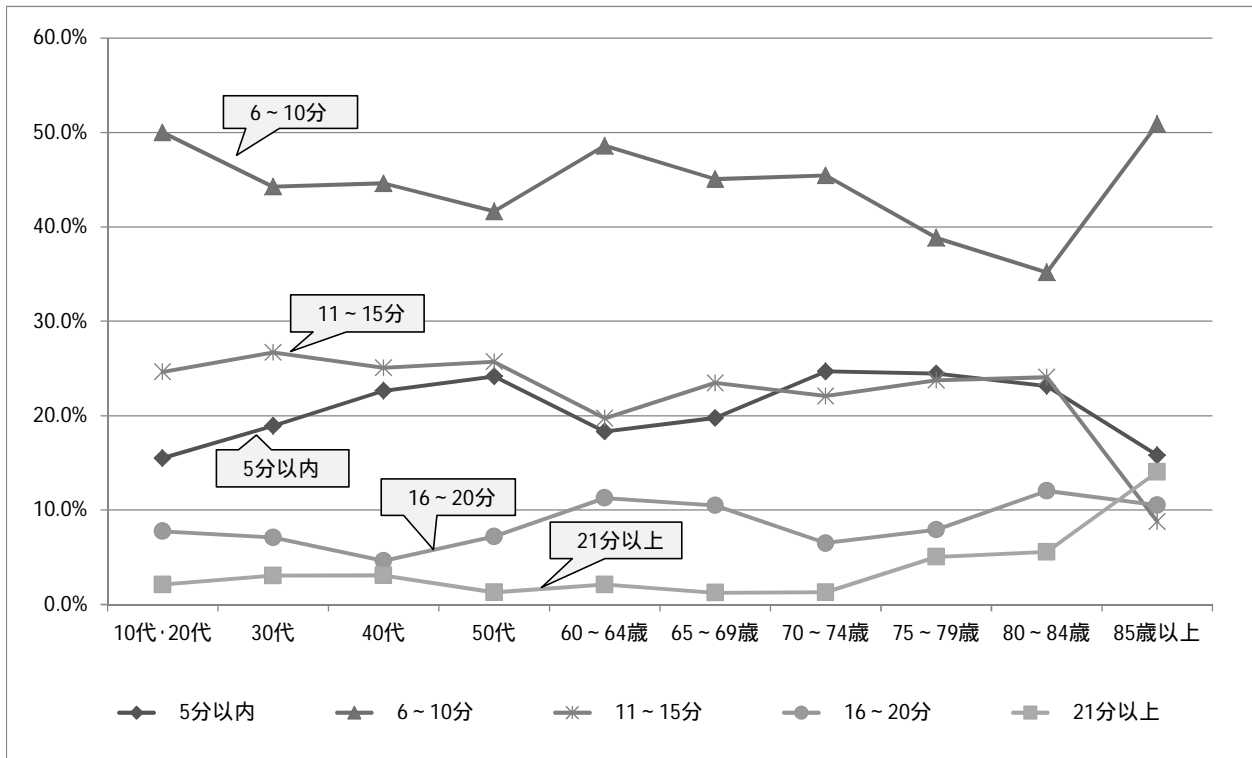
## 2) 最寄り鉄道駅に向かうまでにかかる時間

「自宅から最寄り駅に徒歩で向かう場合にかかる時間(問 3.1)」では、全体の 65%以上が 10 分以内と回答している。一方、駅まで 16 分以上かかる人のうち 75 歳以上の割合が高く、距離だけでなく歩行速度も関係すると思われるため、バス等の移動手段がない人には移動の支援が必要と考えられる。

### アンケート集計結果(年齢別)

問 3.1 あなたの自宅から最も利用する駅に徒歩で向かう場合にかかる時間について  
お答えください。(択一回答)(抜粋)

	5分以内		6～10分		11～15分		16～20分		21分以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	22	15.5%	71	50.0%	35	24.6%	11	7.7%	3	2.1%
30代	56	18.9%	131	44.3%	79	26.7%	21	7.1%	9	3.0%
40代	103	22.6%	203	44.6%	114	25.1%	21	4.6%	14	3.1%
50代	94	24.2%	162	41.6%	100	25.7%	28	7.2%	5	1.3%
60～64歳	26	18.3%	69	48.6%	28	19.7%	16	11.3%	3	2.1%
65～69歳	32	19.8%	73	45.1%	38	23.5%	17	10.5%	2	1.2%
70～74歳	38	24.7%	70	45.5%	34	22.1%	10	6.5%	2	1.3%
75～79歳	34	24.5%	54	38.8%	33	23.7%	11	7.9%	7	5.0%
80～84歳	25	23.1%	38	35.2%	26	24.1%	13	12.0%	6	5.6%
85歳以上	9	15.8%	29	50.9%	5	8.8%	6	10.5%	8	14.0%
計(年齢不明含む)	439	21.4%	902	44.0%	494	24.1%	154	7.5%	59	2.9%



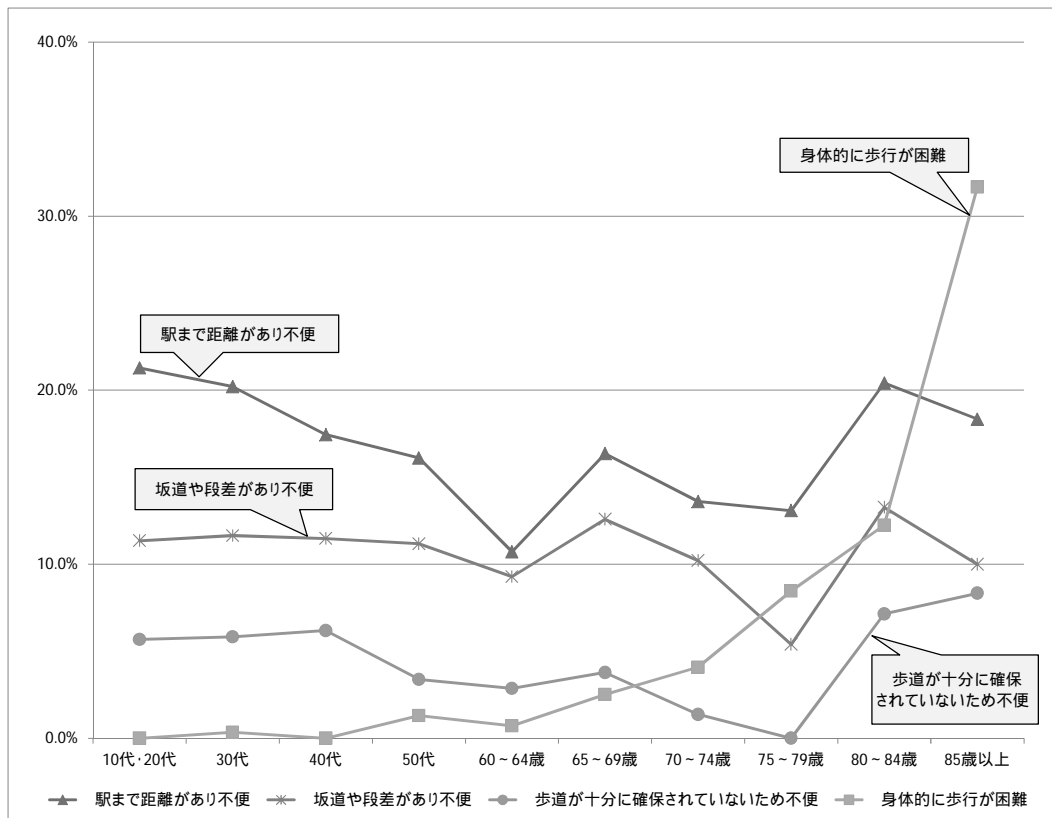
### 3) 最寄り鉄道駅に向かうまでの利便性

「自宅から最寄り駅に徒歩で向かう場合の利便性（問 3.1）」では、全体の 73%が無理なく歩けると回答している。一方、駅までの距離や坂道により不便と感じている人もおり、80 歳以上で高い割合となっている。身体的に歩行が困難と回答している人は、75 歳以上に多く、バス等の移動手段がない人には移動の支援が必要と考えられる。

#### アンケート集計結果（年齢別）

問 3.1 あなたの自宅から最も利用する駅に徒歩で向かう場合にかかる利便性についてお答えください。（複数回答）（抜粋）

	無理なく歩ける		駅まで距離があり不便		坂道や段差があり不便		歩道が十分に確保されていないため不便		身体的に歩行が困難	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	107	75.9%	30	21.3%	16	11.3%	8	5.7%	0	0.0%
30代	206	70.5%	59	20.2%	34	11.6%	17	5.8%	1	0.3%
40代	325	71.7%	79	17.4%	52	11.5%	28	6.2%	0	0.0%
50代	295	76.6%	62	16.1%	43	11.2%	13	3.4%	5	1.3%
60～64歳	114	81.4%	15	10.7%	13	9.3%	4	2.9%	1	0.7%
65～69歳	118	74.2%	26	16.4%	20	12.6%	6	3.8%	4	2.5%
70～74歳	113	76.9%	20	13.6%	15	10.2%	2	1.4%	6	4.1%
75～79歳	101	77.7%	17	13.1%	7	5.4%	0	0.0%	11	8.5%
80～84歳	59	60.2%	20	20.4%	13	13.3%	7	7.1%	12	12.2%
85歳以上	23	38.3%	11	18.3%	6	10.0%	5	8.3%	19	31.7%
計(年齢不明含む)	1,467	73.0%	340	16.9%	219	10.9%	90	4.5%	59	2.9%

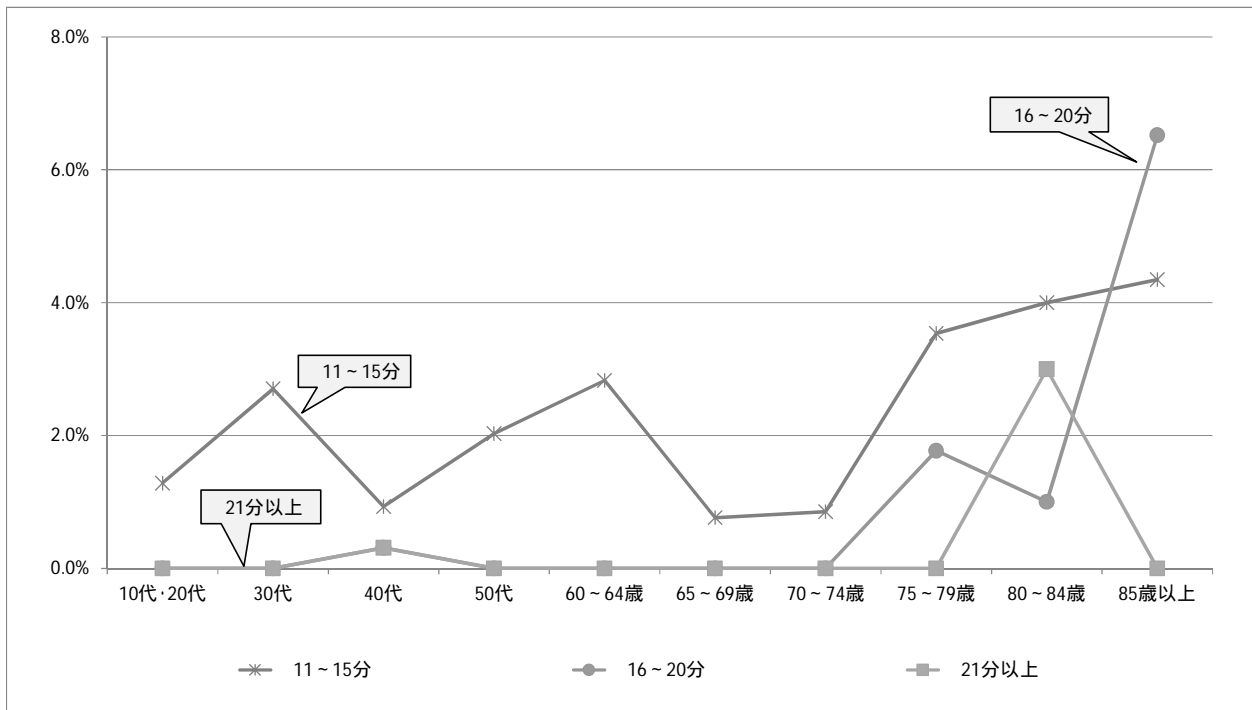


#### 4) 最寄りバス停に向かうまでにかかる時間

「自宅から最寄りバス停に徒歩で向かう場合にかかる時間（問 3.1）」では、全体の 97%以上が 10 分以内と回答している。バス停まで 11 分以上かかる人のうち 75 歳以上の割合が高く、距離だけでなく歩行速度も関係すると思われるため、移動の支援が必要になると考えられる。

問 3.1 あなたの自宅から最も利用するバス停に徒歩で向かう場合にかかる時間について  
お答えください。(択一回答)(抜粋)

	5分以内		6～10分		11～15分		16～20分		21分以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	65	83.3%	12	15.4%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
30代	153	82.7%	27	14.6%	5	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
40代	266	82.4%	52	16.1%	3	0.9%	1	0.3%	1	0.3%
50代	248	83.8%	42	14.2%	6	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
60～64歳	88	83.0%	15	14.2%	3	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
65～69歳	98	74.8%	32	24.4%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
70～74歳	91	77.8%	25	21.4%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
75～79歳	82	72.6%	25	22.1%	4	3.5%	2	1.8%	0	0.0%
80～84歳	77	77.0%	15	15.0%	4	4.0%	1	1.0%	3	3.0%
85歳以上	28	60.9%	13	28.3%	2	4.3%	3	6.5%	0	0.0%
計(年齢不明含む)	1,199	80.0%	258	17.2%	30	2.0%	7	0.5%	4	0.3%

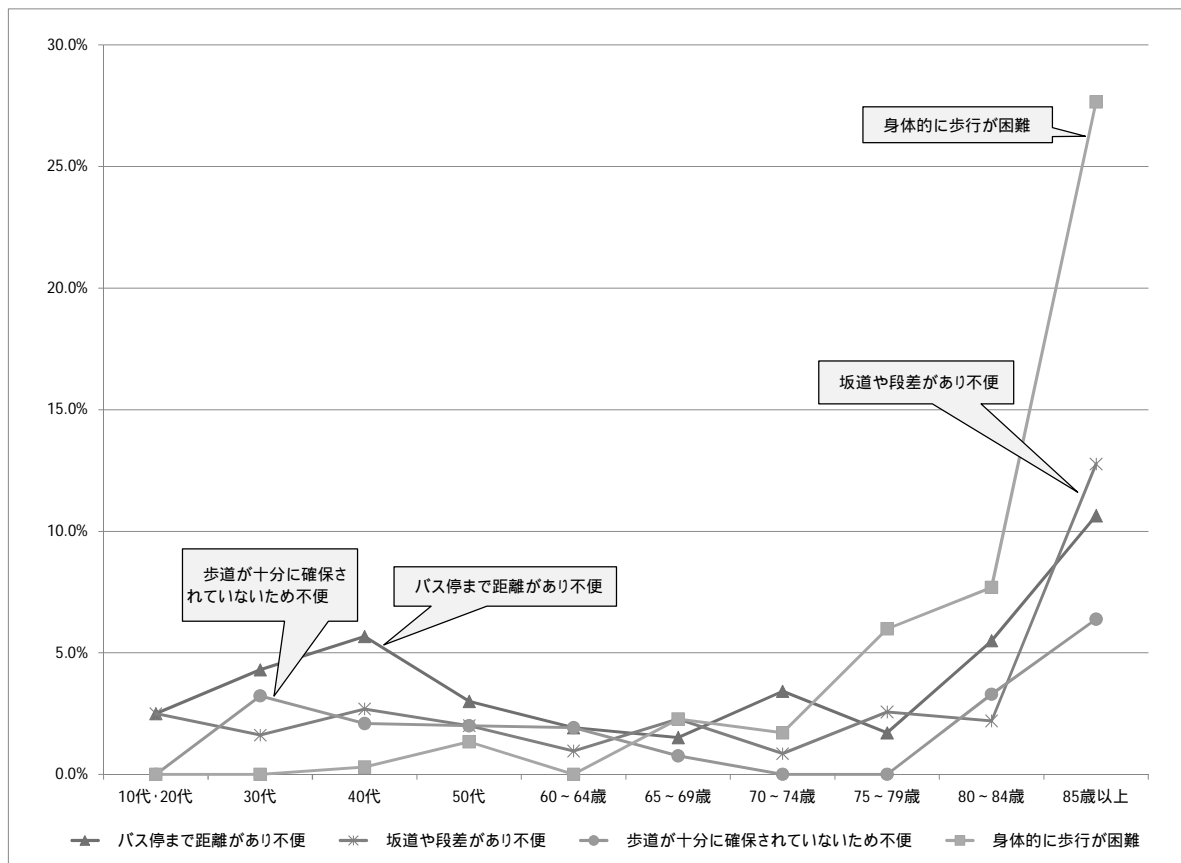


5) 最寄りバス停に向かうまでの利便性

「自宅から最寄りバス停に徒歩で向かう場合の利便性(問3.1)」では、全体の90%以上が無理なく歩けると回答している。一方、距離や坂道により不便と感じている人もおり、身体的に歩行が困難と回答している人は、75歳以上に多く、85歳以上では全ての項目で高い割合となっており、移動の支援が必要となると考えられる。

問3.1 あなたの自宅から最も利用するバス停に徒歩で向かう場合にかかる利便性についてお答えください。(複数回答)(抜粋)

	無理なく歩ける		バス停まで距離があり不便		坂道や段差があり不便		歩道が十分に確保されていないため不便		身体的に歩行が困難	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	74	92.5%	2	2.5%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
30代	172	92.5%	8	4.3%	3	1.6%	6	3.2%	0	0.0%
40代	305	91.0%	19	5.7%	9	2.7%	7	2.1%	1	0.3%
50代	277	92.3%	9	3.0%	6	2.0%	6	2.0%	4	1.3%
60～64歳	100	96.2%	2	1.9%	1	1.0%	2	1.9%	0	0.0%
65～69歳	122	92.4%	2	1.5%	3	2.3%	1	0.8%	3	2.3%
70～74歳	111	94.9%	4	3.4%	1	0.9%	0	0.0%	2	1.7%
75～79歳	106	90.6%	2	1.7%	3	2.6%	0	0.0%	7	6.0%
80～84歳	75	82.4%	5	5.5%	2	2.2%	3	3.3%	7	7.7%
85歳以上	26	55.3%	5	10.6%	6	12.8%	3	6.4%	13	27.7%
計(年齢不明含む)	1,372	90.7%	58	3.8%	36	2.4%	28	1.9%	37	2.4%

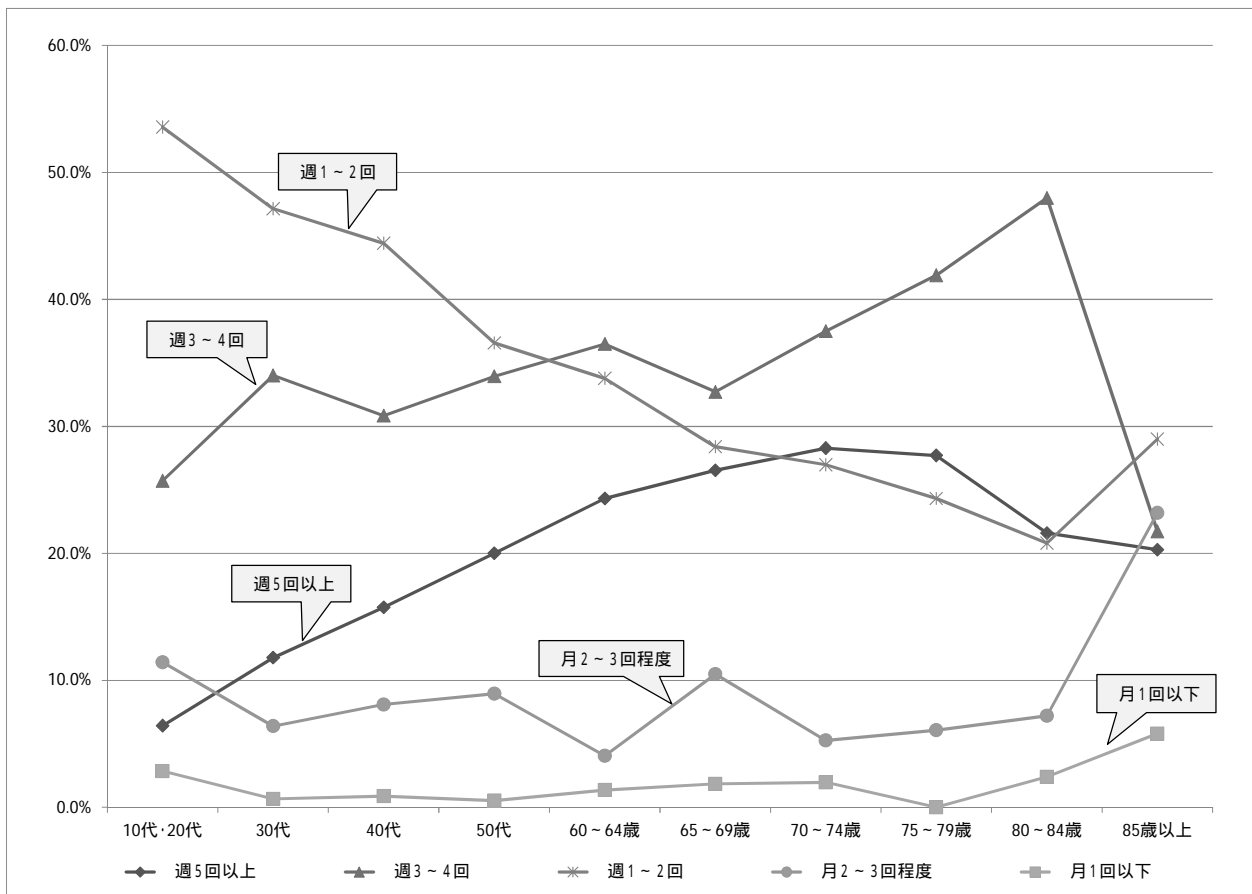


6) 買い物の移動頻度

「買い物の移動頻度(問4.1)」では、週1~2回が最も多く、次いで週3~4回が多く、週1~4回では71.5%となっており、高齢の世代ほど買い物の頻度が高い傾向にある。

問4.1 あなたの日常移動について、買い物の移動頻度をお答えください。(択一回答)(抜粋)

	週5回以上		週3~4回		週1~2回		月2~3回程度		月1回以下	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	9	6.4%	36	25.7%	75	53.6%	16	11.4%	4	2.9%
30代	35	11.8%	101	34.0%	140	47.1%	19	6.4%	2	0.7%
40代	72	15.8%	141	30.9%	203	44.4%	37	8.1%	4	0.9%
50代	76	20.0%	129	33.9%	139	36.6%	34	8.9%	2	0.5%
60~64歳	36	24.3%	54	36.5%	50	33.8%	6	4.1%	2	1.4%
65~69歳	43	26.5%	53	32.7%	46	28.4%	17	10.5%	3	1.9%
70~74歳	43	28.3%	57	37.5%	41	27.0%	8	5.3%	3	2.0%
75~79歳	41	27.7%	62	41.9%	36	24.3%	9	6.1%	0	0.0%
80~84歳	27	21.6%	60	48.0%	26	20.8%	9	7.2%	3	2.4%
85歳以上	14	20.3%	15	21.7%	20	29.0%	16	23.2%	4	5.8%
計(年齢不明含む)	396	19.0%	710	34.1%	778	37.4%	171	8.2%	27	1.3%

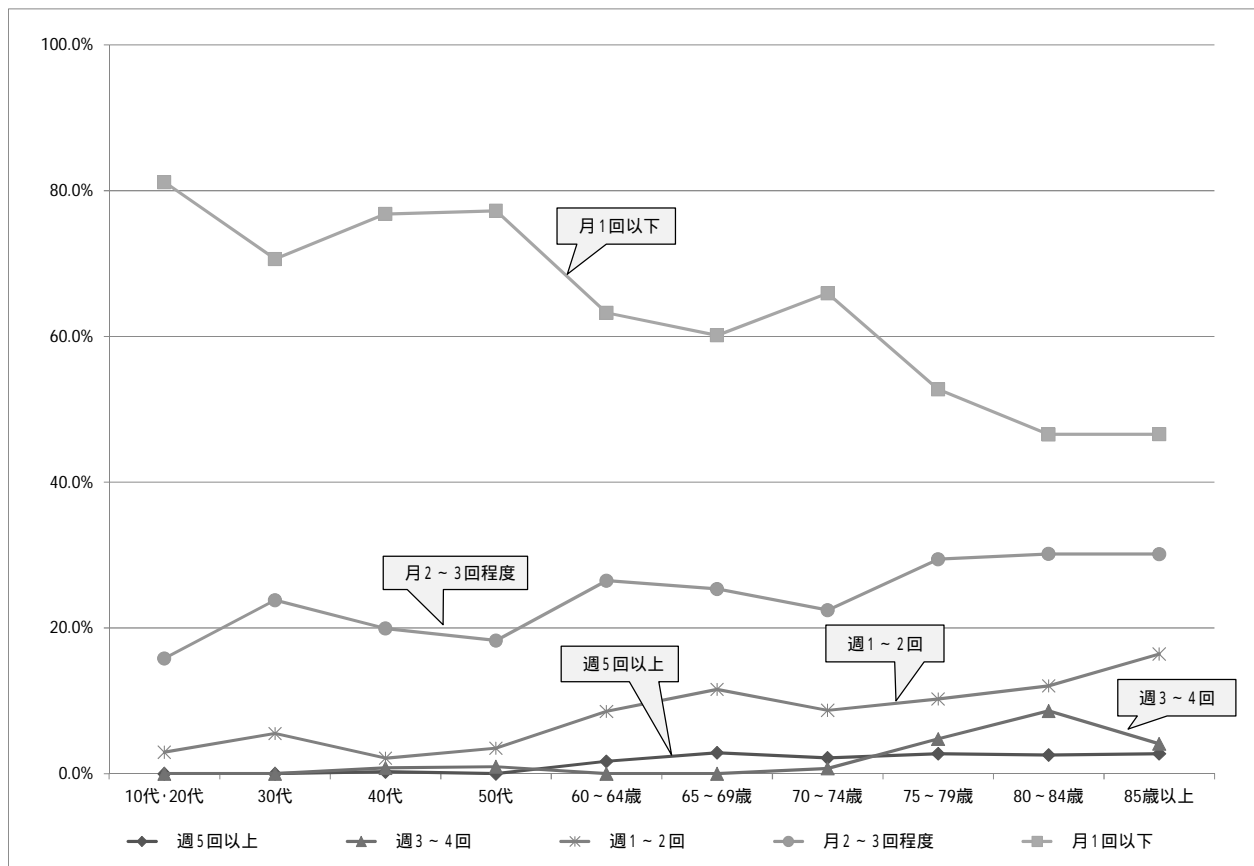


### 7) 通院の移動頻度

「通院の移動頻度(問4.1)」では、月1回以下が最も多く、次いで月2~3回が多く、月3回以下で90.8%となっている。年齢別では高齢者層で通院頻度が増える傾向にあり、病院との行き来において移動の支援が必要になると考えられる。

問4.1 あなたの日常移動について、通院の移動頻度をお答えください。(択一回答)(抜粋)

	週5回以上		週3~4回		週1~2回		月2~3回程度		月1回以下	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	16	15.8%	82	81.2%
30代	0	0.0%	0	0.0%	13	5.5%	56	23.8%	166	70.6%
40代	1	0.3%	3	0.8%	8	2.2%	74	19.9%	285	76.8%
50代	0	0.0%	3	1.0%	11	3.5%	57	18.3%	241	77.2%
60~64歳	2	1.7%	0	0.0%	10	8.5%	31	26.5%	74	63.2%
65~69歳	4	2.9%	0	0.0%	16	11.6%	35	25.4%	83	60.1%
70~74歳	3	2.2%	1	0.7%	12	8.7%	31	22.5%	91	65.9%
75~79歳	4	2.7%	7	4.8%	15	10.3%	43	29.5%	77	52.7%
80~84歳	3	2.6%	10	8.6%	14	12.1%	35	30.2%	54	46.6%
85歳以上	2	2.7%	3	4.1%	12	16.4%	22	30.1%	34	46.6%
計(年齢不明含む)	19	1.1%	28	1.6%	114	6.5%	401	22.9%	1,189	67.9%





8) 外出時における不便な状況

「外出時における不便な状況（問 5.1）」では、全体の 57.0% が特に不便を感じていないと回答している。一方、公共交通機関までの距離や坂道、タクシー利用の迎車料金など費用がかかることに不便と感じている世代では、子育て世代を含む 30 代以下や 10・20 代、80 歳以上の高齢者の世代で割合が高くなっている。

アンケート集計結果（年齢別）

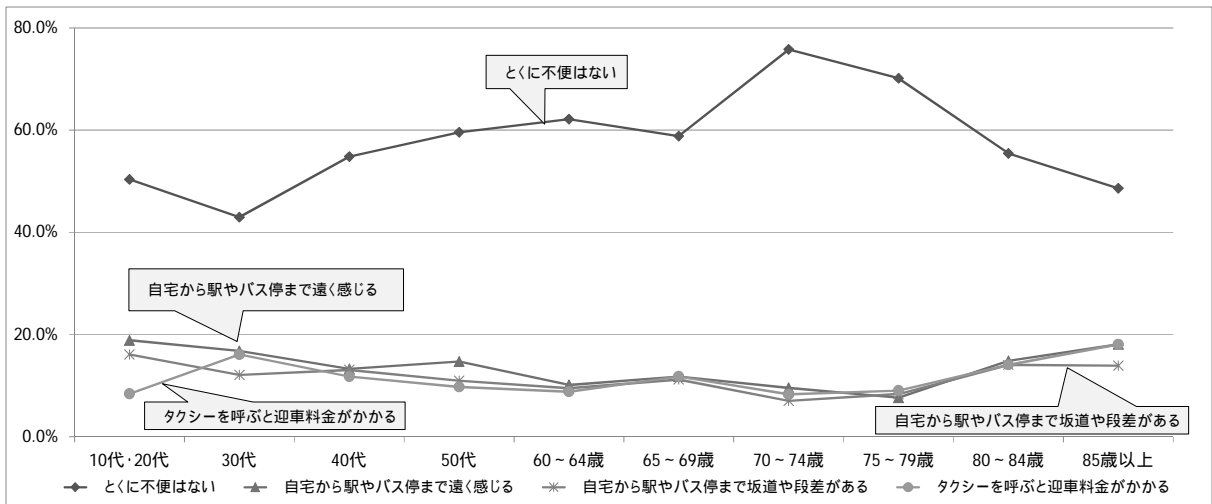
問 5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。（複数回答）（抜粋）

	とくに不便はない		自宅から駅やバス停まで遠く感じる		自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある		タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	72	50.3%	27	18.9%	23	16.1%	12	8.4%
30代	128	43.0%	50	16.8%	36	12.1%	48	16.1%
40代	256	54.8%	62	13.3%	61	13.1%	55	11.8%
50代	239	59.6%	59	14.7%	44	11.0%	39	9.7%
60～64歳	92	62.2%	15	10.1%	14	9.5%	13	8.8%
65～69歳	100	58.8%	20	11.8%	19	11.2%	20	11.8%
70～74歳	119	75.8%	15	9.6%	11	7.0%	13	8.3%
75～79歳	101	70.1%	11	7.6%	12	8.3%	13	9.0%
80～84歳	71	55.5%	19	14.8%	18	14.1%	18	14.1%
85歳以上	35	48.6%	13	18.1%	10	13.9%	13	18.1%
計（年齢不明含む）	1,216	57.0%	291	13.6%	248	11.6%	244	11.4%

アンケート集計結果（乳幼児等の有無別）

問 5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。（複数回答）（抜粋）

	とくに不便はない		自宅から駅やバス停まで遠く感じる		自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある		タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
乳幼児等がいる	100	43.9%	38	16.7%	30	13.2%	53	23.2%
乳幼児等がない	1,097	58.5%	249	13.3%	216	11.5%	186	9.9%
計（乳幼児等有無の不明含む）	1,216	57.0%	291	13.6%	248	11.6%	244	11.4%



9) 新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方

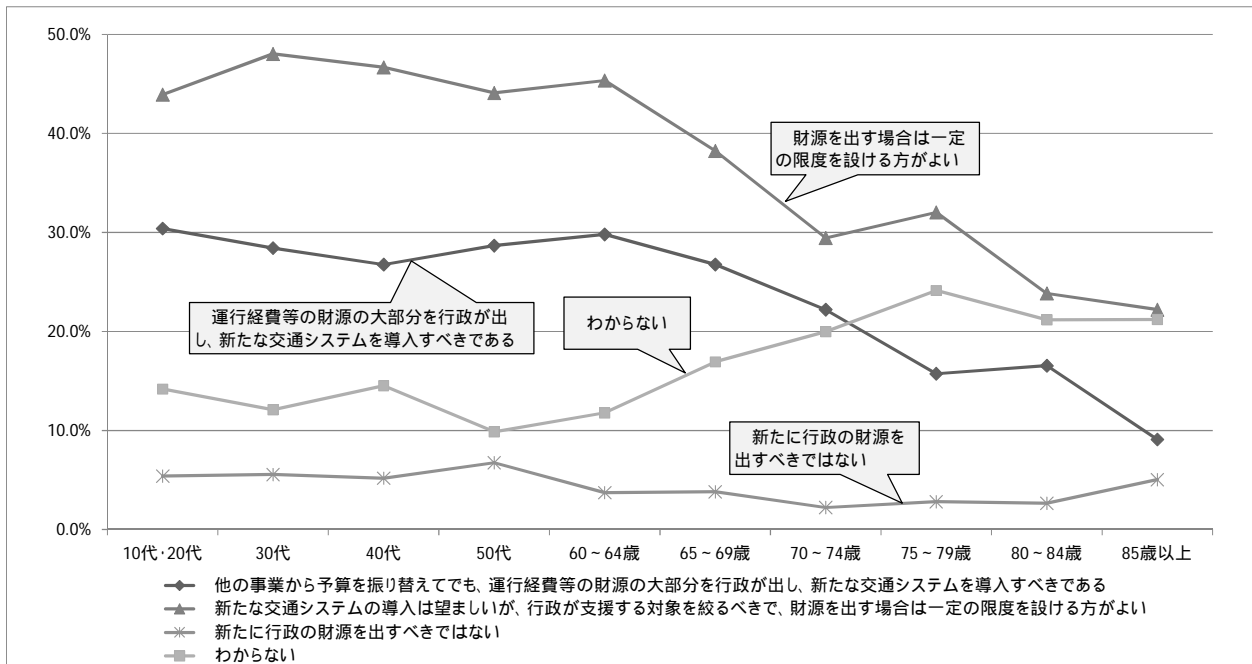
新たな行政の財源支出に反対の意見は5.0%以下で、新たな交通システム導入に伴う財源の大部分、若しくは一定限度の支出に賛成の意見は65.6%となっており、行政の財源支出に肯定的な人の割合が高いと考えられる。

また、行政の財源支出に賛成の意見が多いのは64歳以下の世代で全体の約5割となっており、高齢者に配慮した回答をする人が多い。

アンケート集計結果（年齢別）

問6.2 新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。（択一回答）（抜粋）

	他の事業から予算を振り替えてでも、運行経費等の財源の大部分を行政が出し、新たな交通システムを導入すべきである		新たな交通システムの導入は望ましいが、行政が支援する対象を絞るべきで、財源を出す場合は一定の限度を設ける方がよい		新たに行政の財源を出すべきではない		わからない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	45	30.4%	65	43.9%	8	5.4%	21	14.2%
30代	87	28.4%	147	48.0%	17	5.6%	37	12.1%
40代	129	26.8%	225	46.7%	25	5.2%	70	14.5%
50代	119	28.7%	183	44.1%	28	6.7%	41	9.9%
60～64歳	48	29.8%	73	45.3%	6	3.7%	19	11.8%
65～69歳	49	26.8%	70	38.3%	7	3.8%	31	16.9%
70～74歳	40	22.2%	53	29.4%	4	2.2%	36	20.0%
75～79歳	28	15.7%	57	32.0%	5	2.8%	43	24.2%
80～84歳	25	16.6%	36	23.8%	4	2.6%	32	21.2%
85歳以上	9	9.1%	22	22.2%	5	5.1%	21	21.2%
計(年齢不明含む)	579	25.1%	934	40.5%	109	4.7%	352	15.2%

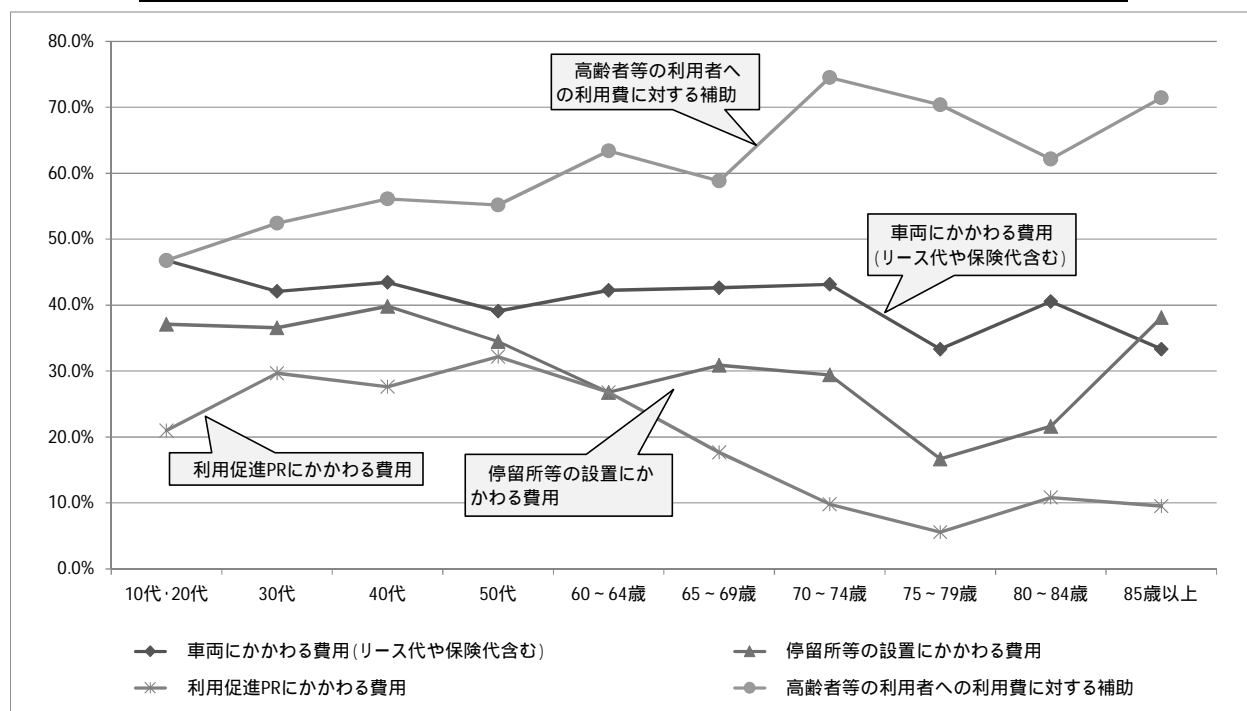


「新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方における、一定限度の支援(問6.2一定の限度を設ける方がよい)の回答者のみ」では、全ての世代で「高齢者等の利用者への利用費に対する補助」と回答する人の割合が高く、合計すると57.9%となっており、次いで「車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)」が41.7%となっており、利用される車両や利用者への補助に賛成する意見が多く、70歳以上の世代では特に多い。

### アンケート集計結果(年齢別)

問6.2 新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。(択一回答)(抜粋)

	車両にかかわる費用(リース代や保険代含む)		停留所等の設置にかかわる費用		利用促進PRにかかわる費用		高齢者等の利用者への利用費に対する補助	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10代・20代	29	46.8%	23	37.1%	13	21.0%	29	46.8%
30代	61	42.1%	53	36.6%	43	29.7%	76	52.4%
40代	96	43.4%	88	39.8%	61	27.6%	124	56.1%
50代	68	39.1%	60	34.5%	56	32.2%	96	55.2%
60～64歳	30	42.3%	19	26.8%	19	26.8%	45	63.4%
65～69歳	29	42.6%	21	30.9%	12	17.6%	40	58.8%
70～74歳	22	43.1%	15	29.4%	5	9.8%	38	74.5%
75～79歳	18	33.3%	9	16.7%	3	5.6%	38	70.4%
80～84歳	15	40.5%	8	21.6%	4	10.8%	23	62.2%
85歳以上	7	33.3%	8	38.1%	2	9.5%	15	71.4%
計(年齢不明含む)	378	41.7%	305	33.6%	218	24.0%	525	57.9%



## (2) 地域別の不便な状況やニーズ

### 1) 外出時における不便な状況（アンケート結果（単純集計））

アンケート結果（単純集計）より、外出に際しての不便なこと(問 5.1)をみると、「特に不便はない」が全体の 57.0%と最も多い状況であったが、不便な状況として「自宅から駅やバス停まで遠く感じる」が 13.6%、「自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある」が 11.6%と不便なことの上位にあげられた。

### アンケート結果（単純集計）

#### 問 5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。（複数回答）

n=2,133

選択肢	回答数	割合
計	3,673	-
とくに不便はない	1,216	57.0%
自宅から駅やバス停まで遠く感じる	291	13.6%
自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある	248	11.6%
自宅から駅やバス停までの道路の幅員が狭く歩きにくい	201	9.4%
自宅から駅やバス停までの道路上に電柱等があるため歩きにくい	150	7.0%
自宅から駅やバス停までの道路で車(自転車含む)の交通量が多い、またスピードを出すため、危ない	242	11.3%
バスの運行本数が少ない	213	10.0%
バスは移動に時間がかかる	127	6.0%
バスが時間通りに来ない	211	9.9%
バスの乗降りの段差が大変	58	2.7%
タクシー料金が高い	190	8.9%
タクシーを呼ぶと迎車料金がかかる	244	11.4%
使いやすい鉄道やバス路線の移動手段がない	115	5.4%
その他	167	7.8%

## 2) 最寄り鉄道駅までの利便性

最寄り鉄道駅までの利便性として、アンケート集計（地域別）の結果から、「自宅から最も利用する駅までの利便性（問 3.1）」で最寄り駅まで距離があり不便を感じている割合の高い地域をみると、東が丘、中町、碑文谷となっており、駅から離れた地域（三田、青葉台、八雲、柿の木坂、南、目黒、下目黒など）では駅が遠くて不便と感じる人の割合が少ないことから、距離による不便の感じ方には差があることがわかる。

### アンケート集計結果（地域別）

問 3.1 あなたの自宅から最も利用する駅に徒歩で向かう場合にかかる利便性について  
お答えください。（複数回答）（抜粋）

	駅まで距離があり不便	
	回答数	割合
駒場	0	0.0%
青葉台	11	19.6%
東山	4	4.3%
大橋	2	5.1%
上目黒	13	10.7%
中目黒	21	18.8%
三田	5	12.8%
目黒	26	26.3%
下目黒	35	24.6%
中町	26	34.7%
五本木	3	4.6%
祐天寺	1	3.8%
中央町	1	2.2%
鷹番	3	4.8%
目黒本町	45	25.4%
原町	2	5.3%
洗足	1	1.6%
南	19	28.8%
碑文谷	41	32.8%
平町	2	4.8%
大岡山	4	8.7%
緑が丘	4	7.1%
自由が丘	6	8.6%
中根	4	7.3%
柿の木坂	12	15.2%
八雲	29	24.2%
東が丘	18	36.7%
計(住所不明含む)	340	16.9%

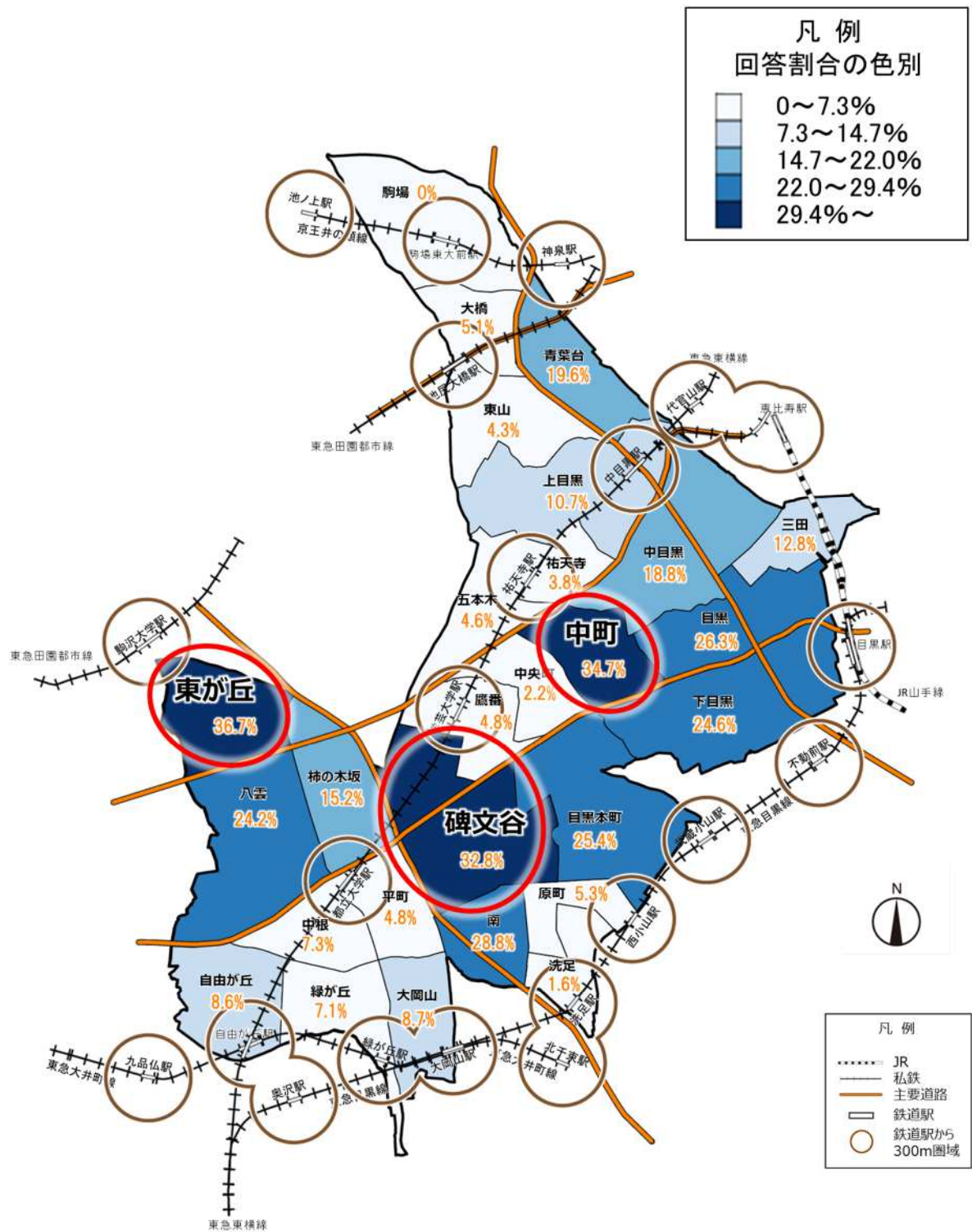


図 参考-1 自宅から最寄りの駅まで距離があり不便を感じる地域

また、「自宅から最も利用する駅までの利便性（問3.1）」で最寄り駅まで坂道や段差があり不便を感じている地域をみると、目黒や下目黒で割合が高い状況にある。地域に隣接する目黒駅の利用者が多いことが想定されることから、目黒駅周辺の坂道に対して不便を感じていると考えられる。

#### アンケート集計結果（地域別）

問3.1 あなたの自宅から最も利用する駅に徒歩で向かう場合にかかる利便性についてお答えください。（複数回答）（抜粋）

	坂道や段差があり不便	
	回答数	割合
駒場	5	10.6%
青葉台	2	3.6%
東山	18	19.6%
大橋	4	10.3%
上目黒	16	13.1%
中目黒	10	8.9%
三田	1	2.6%
目黒	31	31.3%
下目黒	57	40.1%
中町	8	10.7%
五本木	0	0.0%
祐天寺	1	3.8%
中央町	0	0.0%
鷹番	0	0.0%
目黒本町	4	2.3%
原町	0	0.0%
洗足	2	3.3%
南	3	4.5%
碑文谷	8	6.4%
平町	1	2.4%
大岡山	6	13.0%
緑が丘	4	7.1%
自由が丘	11	15.7%
中根	4	7.3%
柿の木坂	6	7.6%
八雲	12	10.0%
東が丘	5	10.2%
計(住所不明含む)	219	10.9%

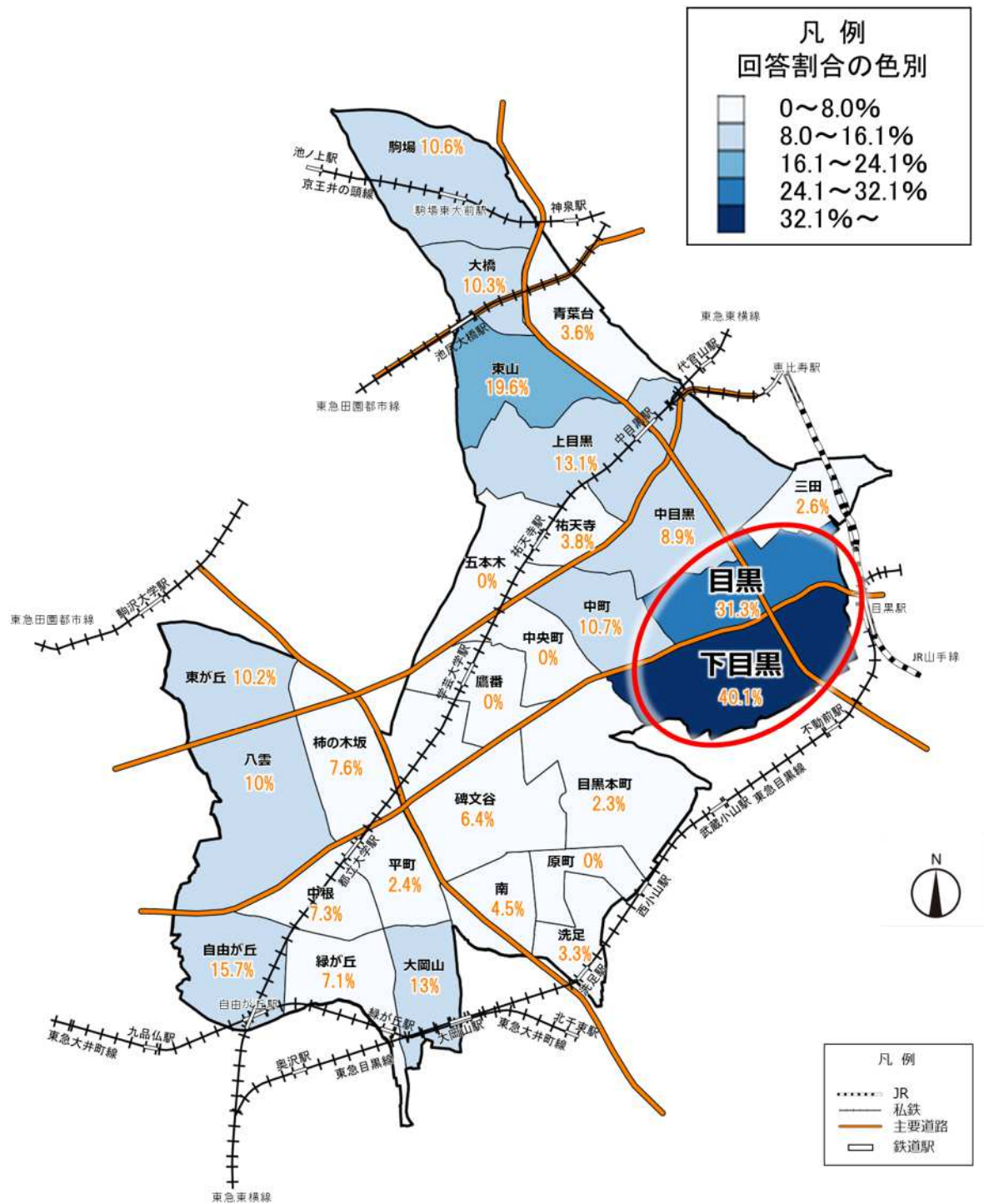


図 参考-2 自宅から最寄りの駅まで坂道や段差があり不便を感じる地域



### 3) 最寄りバス停までの利便性

最寄りバス停までの利便性として、「自宅から最も利用するバス停までの利便性(問3.1)」でバス停まで距離があり不便を感じる地域をみると大岡山が最も高く、地域内にはバス停がないため、他の地区と比較して不便と感じている人の割合が38.1%となっており、一般者を対象とした鉄道駅・バス停圏域(300m圏域)との重ね合わせでみると、その圏域に入らない地域が大岡山の地域の南北に広がっていることがわかる。

#### 問3.1 あなたの自宅から最も利用するバス停に徒歩で向かう場合にかかる利便性についてお答えください。(複数回答)(抜粋)

	バス停まで距離があり不便	
	回答数	割合
駒場	2	6.1%
青葉台	0	0.0%
東山	4	5.5%
大橋	1	2.9%
上目黒	2	2.2%
中目黒	2	2.1%
三田	1	5.6%
目黒	1	1.3%
下目黒	8	6.6%
中町	3	4.0%
五本木	3	5.8%
祐天寺	1	6.3%
中央町	0	0.0%
鷹番	1	2.6%
目黒本町	3	2.3%
原町	1	4.8%
洗足	1	2.1%
南	2	4.1%
碑文谷	2	1.8%
平町	0	0.0%
大岡山	8	38.1%
緑が丘	1	5.9%
自由が丘	4	9.3%
中根	1	2.6%
柿の木坂	2	3.0%
八雲	4	4.3%
東が丘	0	0.0%
計(住所不明含む)	58	3.8%



「自宅から最も利用するバス停までの利便性（問 3.1）」で最寄りのバス停までに坂道や段差があり不便を感じる地域をみると、東山は回答割合が最も高い地域となっており、最寄りバス停からの標高 10m 以上の場所が重なる範囲が多いことがわかる。一般者を対象とした鉄道駅・バス停圏域（300m）を比較すると、東山や上目黒の地域中央がその圏域に入っておらず、かつ標高差の目立つ地域に位置している。

問 3.1 あなたの自宅から最も利用するバス停に徒歩で向かう場合にかかる利便性についてお答えください。（複数回答）（抜粋）

	坂道や段差があり不便	
	回答数	割合
駒場	0	0.0%
青葉台	1	2.1%
東山	9	12.3%
大橋	3	8.6%
上目黒	5	5.6%
中目黒	1	1.0%
三田	1	5.6%
目黒	3	3.9%
下目黒	4	3.3%
中町	0	0.0%
五本木	0	0.0%
祐天寺	1	6.3%
中央町	0	0.0%
鷹番	0	0.0%
目黒本町	1	0.8%
原町	0	0.0%
洗足	0	0.0%
南	0	0.0%
碑文谷	1	0.9%
平町	0	0.0%
大岡山	1	4.8%
緑が丘	0	0.0%
自由が丘	2	4.7%
中根	0	0.0%
柿の木坂	1	1.5%
八雲	1	1.1%
東が丘	1	2.4%
計(住所不明含む)	36	2.4%

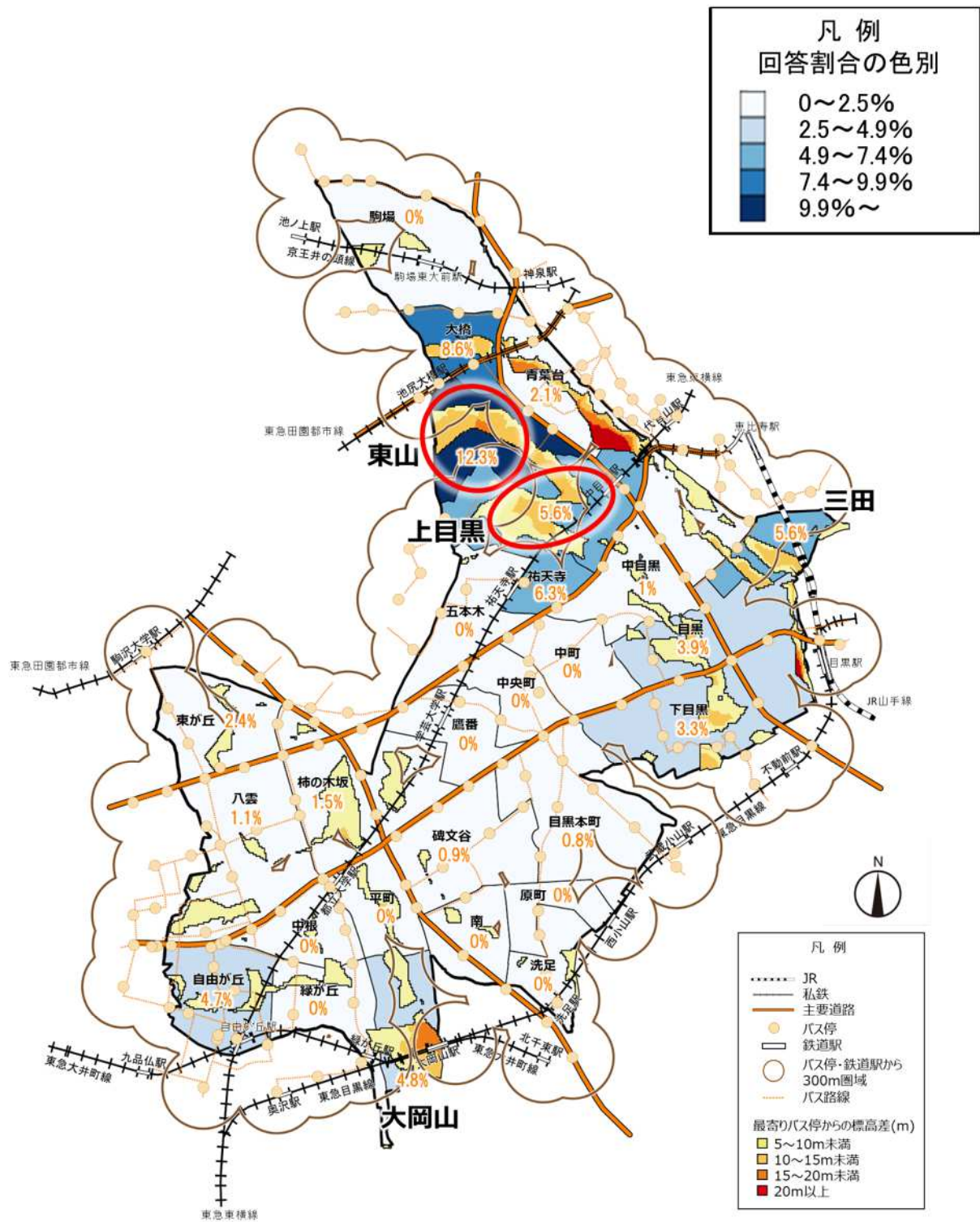


図 参考-4 一般者を対象とした鉄道駅・バス停圏域（300m圏域）と、「自宅から最寄りのバス停まで坂道や段差があり不便を感じる地域」の関係

#### 4) 日常の移動で不便に感じること

不便な状況として挙げられた「駅やバス停まで遠く感じる」や「駅やバス停まで坂道や段差がある」は、最寄りの公共交通機関利用における問題点として、区民が感じる移動に関するニーズと言える。移動に関するニーズの高い地域を抽出するため、公共交通利用圏域や、最寄りのバス停からの高低差の図面との重ね合わせから、アンケート結果との比較分析を行った。なお、公共交通利用圏域は、一般者の圏域を300m、高齢者の圏域を200mとした。

#### 不便状況が「特にない」と回答した地域

区民の外出時における不便状況について、「特に不便はない」との回答が全体の57.0%であった。区全体としては移動に対して特に問題を感じていない傾向にあることがわかる。地域別にみると、祐天寺や中央町では不便を感じない人の割合が高い。一方、下目黒で41.6%、東が丘で41.8%と「特に不便はない」と回答する人の割合が低くなっている。

#### アンケート結果（地域別集計）

問 5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。（複数回答）（抜粋）

	とくに不便はない	
	回答数	割合
駒場	30	57.7%
青葉台	35	59.3%
東山	61	62.9%
大橋	24	58.5%
上目黒	76	59.8%
中目黒	67	58.3%
三田	29	69.0%
目黒	47	46.1%
<b>下目黒</b>	<b>64</b>	<b>41.6%</b>
中町	44	54.3%
五本木	40	57.1%
祐天寺	19	70.4%
中央町	35	70.0%
鷹番	37	59.7%
目黒本町	117	60.9%
原町	26	65.0%
洗足	41	64.1%
南	38	56.7%
碑文谷	82	61.2%
平町	28	68.3%
大岡山	30	62.5%
緑が丘	33	56.9%
自由が丘	31	43.1%
中根	35	58.3%
柿の木坂	49	57.0%
八雲	70	53.4%
<b>東が丘</b>	<b>23</b>	<b>41.8%</b>
計(住所不明含む)	1,216	57.0%

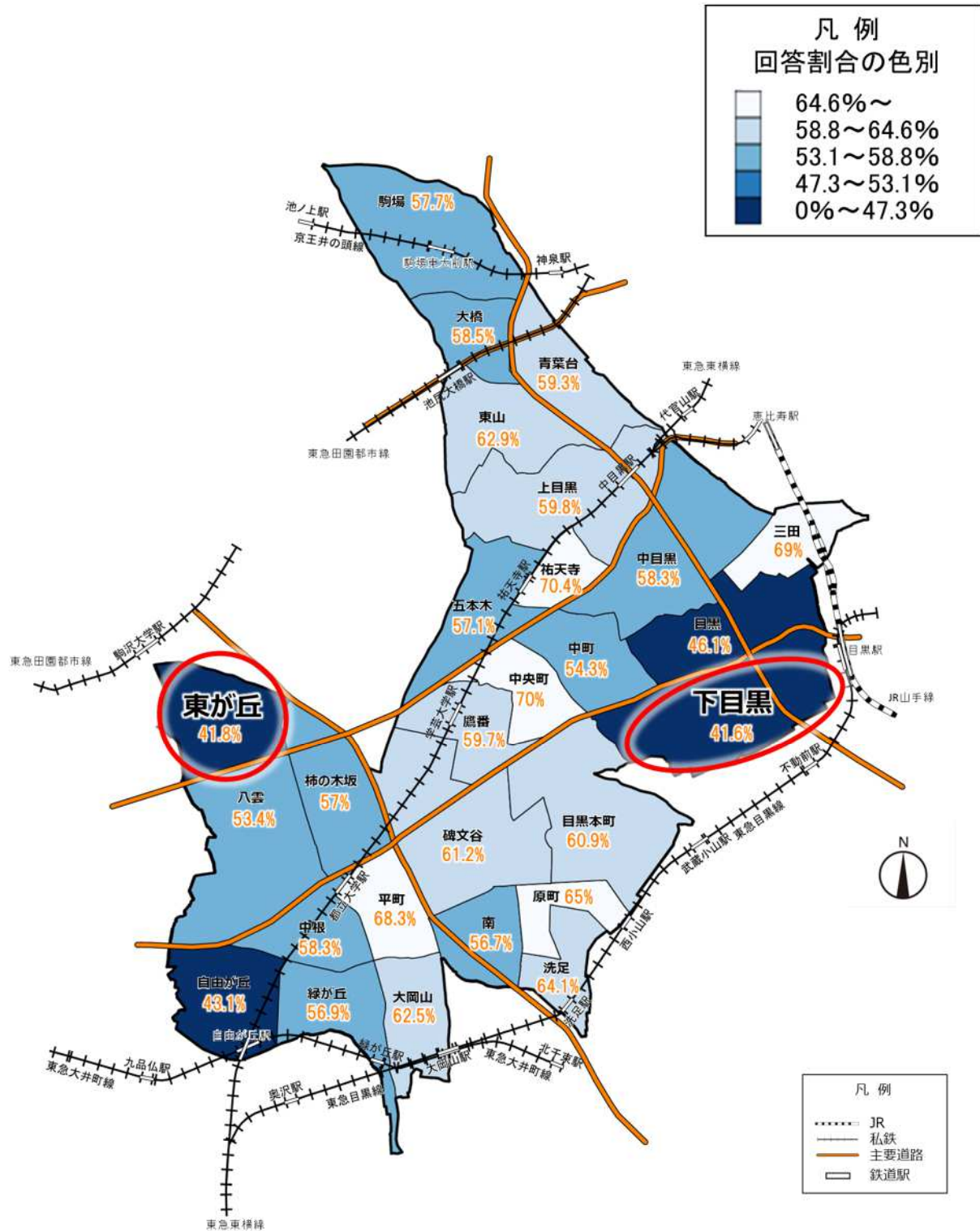


図 参考-5 外出に際して「特に不便はない」の地域別の回答割合

### 不便状況として「駅やバス停まで遠く感じる」と回答した地域

一般者を対象とした公共交通のサービス圏域と比較すると、東が丘や南、碑文谷で駅・バス停のサービス圏域以外において駅やバス停を遠く感じている人が多い傾向がみられたが、サービス圏域以外の面積の広い地域（駒場、東山、上目黒、大岡山など）では、駅やバス停まで遠く感じる人の割合が少ないことから、距離による不便の感じ方には差があることがわかる。また、高齢者を対象とした圏域についても同様の傾向であった。

### アンケート結果（地域別集計）

問 5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。（複数回答）（抜粋）

	自宅から駅やバス停まで遠く感じる	
	回答数	割合
駒場	2	3.8%
青葉台	12	20.3%
東山	7	7.2%
大橋	2	4.9%
上目黒	12	9.4%
中目黒	14	12.2%
三田	4	9.5%
目黒	15	14.7%
下目黒	26	16.9%
中町	15	18.5%
五本木	8	11.4%
祐天寺	1	3.7%
中央町	1	2.0%
鷹番	3	4.8%
目黒本町	32	16.7%
原町	4	10.0%
洗足	2	3.1%
南	17	25.4%
碑文谷	29	21.6%
平町	4	9.8%
大岡山	8	16.7%
緑が丘	5	8.6%
自由が丘	12	16.7%
中根	7	11.7%
柿の木坂	10	11.6%
八雲	24	18.3%
東が丘	14	25.5%
計(住所不明含む)	291	13.6%

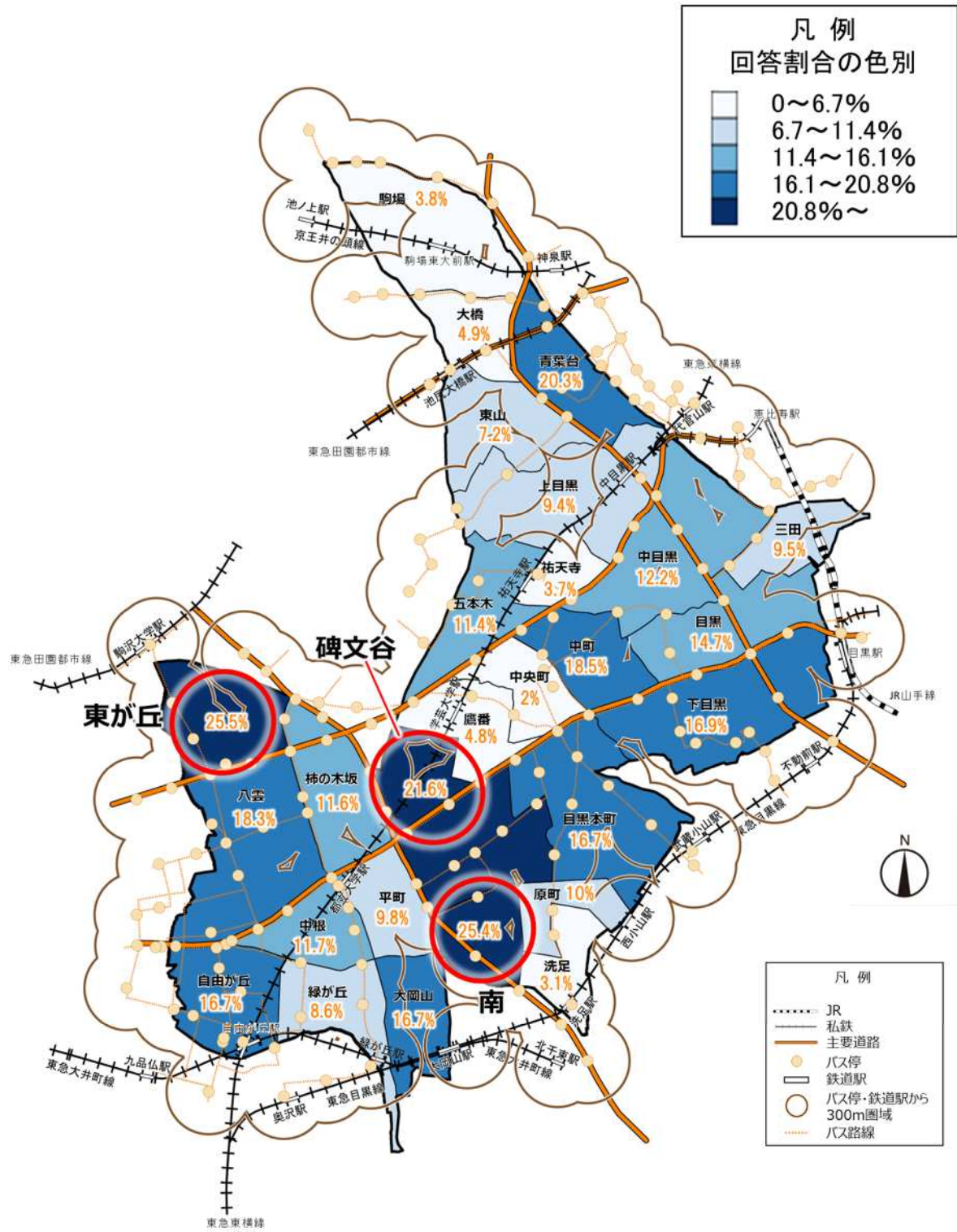


図 参考-6 一般者を対象とした鉄道駅・バス停圏域と「駅やバス停まで遠く感じる地域」との関係



### 不便状況として「駅やバス停まで坂道や段差がある」と回答した地域

最寄りバス停からの高低差と比較分析した結果、下目黒において「駅やバス停まで坂道や段差がある」と感じている人が37.7%と最も高い傾向がみられた。地域の中央部には最寄りバス停から5～15m未満の高低差が生じるエリアが広がっている。また、区外となる目黒駅に向かう道は権之助坂や行人坂があり、特に行人坂は勾配が急なことから駅利用者への移動支援のニーズが高いと考えられる。

### アンケート結果（地域別集計）

問5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。（複数回答）（抜粋）

	自宅から駅やバス停まで坂道や段差がある	
	回答数	割合
駒場	9	17.3%
青葉台	6	10.2%
東山	20	20.6%
大橋	7	17.1%
上目黒	14	11.0%
中目黒	12	10.4%
三田	4	9.5%
目黒	23	22.5%
下目黒	58	37.7%
中町	4	4.9%
五本木	0	0.0%
祐天寺	2	7.4%
中央町	0	0.0%
鷹番	0	0.0%
目黒本町	4	2.1%
原町	0	0.0%
洗足	3	4.7%
南	5	7.5%
碑文谷	9	6.7%
平町	2	4.9%
大岡山	7	14.6%
緑が丘	7	12.1%
自由が丘	12	16.7%
中根	6	10.0%
柿の木坂	10	11.6%
八雲	18	13.7%
東が丘	6	10.9%
計(住所不明含む)	248	11.6%



## 4. アンケート分析結果のまとめ

上記のアンケート分析結果を踏まえて、区民が移動に関して不便を感じている割合が高い年齢や地域を整理した。

### (1) 年齢別クロス集計による移動支援に関するニーズがある年代

アンケート結果（年齢別集計）から、運転免許の保有状況（問 2.1）や最寄り駅及びバス停までの利便性（問 3.1）で身体的に歩行が困難な割合をみると、75 歳以上の高齢者が高く、移動支援に関するニーズがある年代と考えられる。

また、外出における不便な状況（問 5.1）では、特に不便はないとする回答が低くなっているのは、30 代以下の子育て世代や、85 歳以上の高齢者で、移動支援に関するニーズがある年代と考えられる。

### (2) 地域別クロス集計による移動支援に関するニーズがある地域

アンケート結果（地域別集計）から、鉄道駅やバス停からの距離が遠くて不便という意見は、必ずしも実際の距離の差と合致しておらず、不便の感じ方に地域差があることがわかる。

移動に関する不便な状況（問 3.1（鉄道駅）、問 3.1（バス停）、問 5.1）の上位 3 位の地域をみると、下目黒、東が丘、東山、自由が丘となっている。下目黒では、「最寄り鉄道駅まで坂道や段差があり不便」や「外出時における不便は特にないとする回答が低い」が上位 1 位、「最寄りバス停までが遠くて不便」が上位 3 位となっており、鉄道駅やバスを利用した外出において、移動支援に関するニーズがある地域と考えられる。

#### 移動の不便な状況に関するアンケート結果（地域別集計） 上位 3 位の地域

	問3.1 最寄り鉄道駅までの利便性		問3.1 最寄りバス停までの利便性		問5.1 外出時における 不便な状況
	遠くて不便	坂道や段差 があり不便	遠くて不便	坂道や段差 があり不便	とくに不便はない 回答割合の低い 地域
上位1位	東が丘	下目黒	大岡山	東山	下目黒
上位2位	中町	目黒	自由が丘	大橋	東が丘
上位3位	碑文谷	東山	下目黒	祐天寺	自由が丘

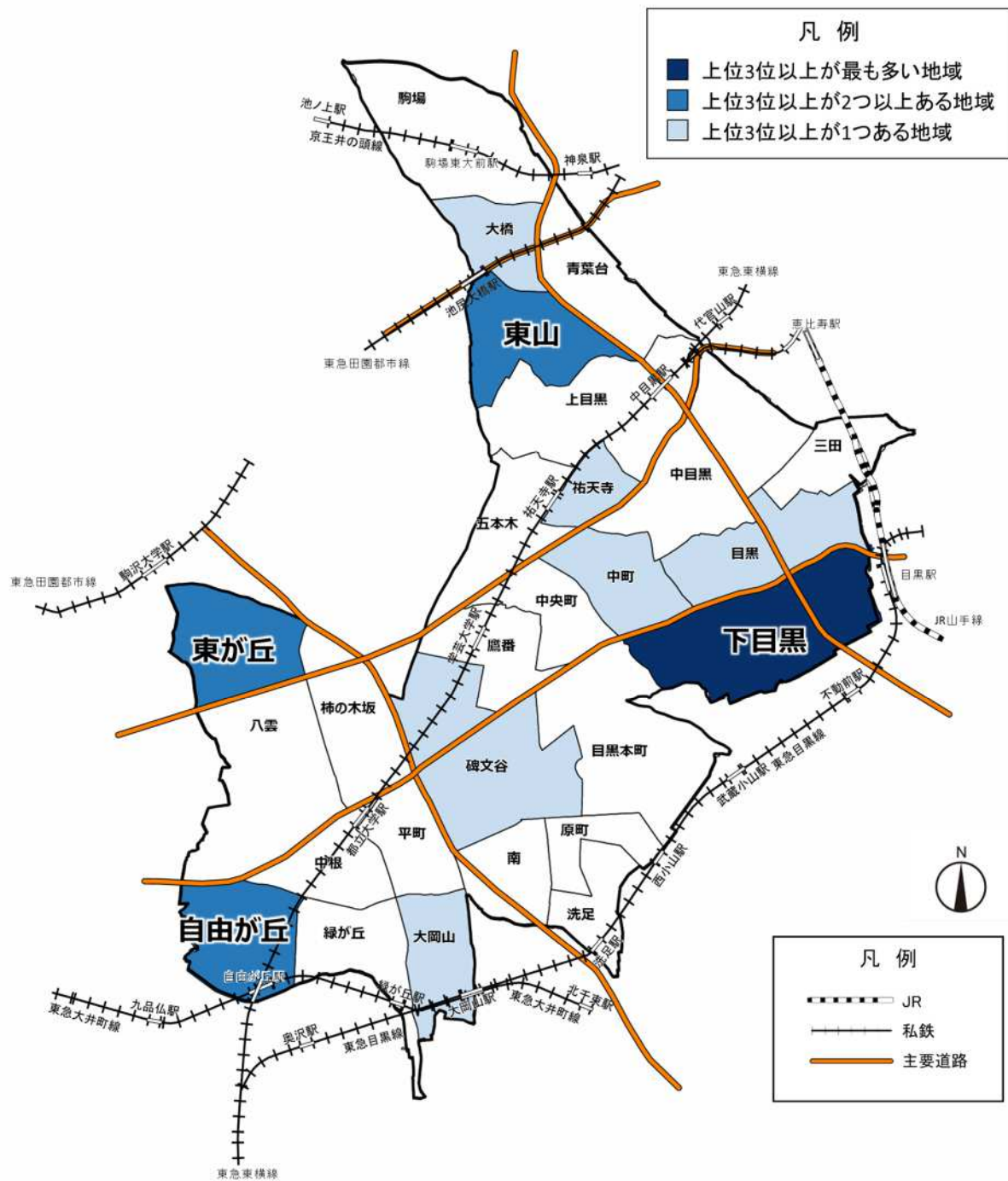


図 参考-1 移動の不便な状況に関するアンケート結果（地域別集計）  
上位3位以上にランクインした地域

## 5. アンケート調査の自由意見の整理

(自由意見の整理方法)

- (1) 図中の n (number of case の略) は、その設問の回答者数を表している。
- (2) アンケート調査の各設問における「その他」の意見及び自由意見についての記載内容をまとめた。
- (3) 各意見は、その内容と回答者属性(居住地域、性別、年代)をあわせて整理した。
- (4) それぞれの意見内容を分類し、その傾向を把握するとともに、代表的な意見などを整理した。
- (5) 1人の回答者が複数の項目にわたる意見を記入している場合、それぞれの項目で1件として数えて、回答件数を集計した。
- (6) 回答割合の算出方法は、回答者数(n)を母数として各回答数の割合を算出している。

各設問の「その他」の意見及び自由意見の内容を分類し、各項目の回答件数と代表的な意見などを以下の通り、整理した。

【問3】「公共交通の利用状況」について

問3.1 あなたの自宅から最も利用する駅やバス停についてお答えください。また、それぞれの駅やバス停に徒歩で向かう場合にかかる時間や利便性についてもお答えください。

・駅までの利便性に対する「その他」の意見

駅までの利便性に対する「その他」の意見は、全体で105件あり、代表的な意見として「徒歩以外の移動手段について」が19件であった。

n=82		
回答内容	回答数	割合
計	105	-
徒歩以外の移動手段について	19	23.2%
道路環境の改善(道が狭いなど)	16	19.5%
安全面の不安(暗い、車のスピードなど)	10	12.2%
歩行者・自転車が多い	8	9.8%
体調や天候次第で不便	8	9.8%
身体的に歩行が困難	8	9.8%
自動車の交通量が多い	6	7.3%
その他	30	36.6%

<主な意見>

徒歩以外の移動手段について

- ・自転車で行き、駐輪場に停めて、帰りに買物して帰る。(目黒本町、女性、70代)
- ・歩いて行くには時間と体力がないのでほとんどバスかタクシー利用。(目黒、女性、60代)

道路環境の改善

- ・駅へ向かう下り坂は問題ないが、帰宅時の上り坂は多少辛い時もある。(大橋、男性、70代)
- ・坂が多いので年寄は登るのがつらい。(柿の木坂、女性、80代以上)

その他

- ・駐輪場に空きがないため駅まで歩くが自転車を利用したい。(東が丘、女性、50代)
- ・小さい子供がいると少し遠く感じる(目黒本町、女性、30代)

・バス停までの利便性について「 その他」の意見

バス停までの利便性に対する「 その他」の意見は、全体で 60 件あり、代表的な意見として「道路環境の改善（道が狭いなど）」が 13 件、「バスをほとんど利用しない、または利用したことがない」が 11 件であった。

n=50		
回答内容	回答数	割合
計	60	-
道路環境の改善(道が狭いなど)	13	26.0%
バスをほとんど利用しない、または利用したことがない	11	22.0%
バス停環境の問題	7	14.0%
バス運行への意見(本数など)	7	14.0%
身体的に歩行が困難	5	10.0%
安全面の不安(車のスピードなど)	5	10.0%
歩行者・自転車が多い	2	4.0%
その他	10	20.0%

<主な意見>

道路環境の改善

- ・バス停部の歩道が狭いため、待っている人と歩行者・自転車が通りづらい。(中目黒、男性、40代)
- ・身体が不自由な人のために横断歩道は信号を付けて欲しい。(碑文谷、女性、40代)
- ・歩道橋を渡ってバス停に行かねばならないが、歩道橋が古くて危なくて歩きにくく怖い。(青葉台、女性、40代)

バスをほとんど利用しない、または利用したことがない

- ・1路線しか走っていないので6年で1回しか使っていない。(目黒本町、男性、40代)
- ・バスは来る時は一度に5台位続けて来たり、不定期等であまり利用しない(大橋、女性、80代以上)

その他

- ・今はゆっくり歩けるがそのうち困難になると思う。(下目黒、女性、70代)

【問5】「日常の移動で不便に感じていること」について

問5.1 外出に際してどのような不便があるか、お答えください。

・「その他」の意見

外出に際しての不便に対する「その他」の意見は、全体で230件あり、代表的な意見として「既存の交通事業に対する意見（バス）」が49件、「道路交通環境について」が44件、「既存の交通事業に対する意見（タクシー）」が37件であった。

		n=180	
回答内容	回答数	割合	
計	230	-	
既存の交通事業に対する意見(バス)	49	27.2%	
道路交通環境について	44	24.4%	
既存の交通事業に対する意見(タクシー)	37	20.6%	
自転車関係	31	17.2%	
既存の交通事業に対する意見(鉄道)	30	16.7%	
既存の交通事業に対する意見(その他)	14	7.8%	
その他	25	13.9%	

<主な意見>

既存の交通事業に対する意見（バス）

- ・満員のため、数台待ってもバスに乗れない。(目黒、男性、40代)
- ・バスが狭く、ベビーカー乗車はたたんでも難しい。(目黒本町、女性、30代)
- ・バスで移動しようとしても、路線図がバスの中ではもらえず出かける前に計画が立てられないのでやめてしまう。(平町、女性、50代)

道路交通環境について

- ・照明が少なく夜暗いため、遅くなると怖いです。(駒場、女性、40代)
- ・駅までの坂道がネックになると思う。目黒駅の周辺は急な坂道が多いので、駅周辺を回るミニバスのような手軽に利用できる交通手段があれば、足が弱っている人も外出しやすくなる。(下目黒、男性、60代)
- ・道路が狭いためベビーカーや小さな子供を歩かせにくい。(洗足、女性、30代)

既存の交通事業に対する意見（タクシー）

- ・タクシーがつかまらない時間帯がある(特に朝)タクシー配車アプリを使っても一切つかまらない。(東山、男性、30代)
- ・タクシーを予約や配車しようにも台数がなく、そもそも予約や配車できない。(南、女性、30代)
- ・タクシーが乗り場にはないことが多い。(祐天寺、女性、40代)



【問6】「小型車両などの新たな交通システム導入に関する取組み方」について

問6.2 新たな交通システム導入に対する行政の財源の使い方について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。

・「その他」の意見

財源の使い方に対する「その他」の意見は、全体で82件あり、代表的な意見として「他の事業を優先もしくは導入の必要性はない」が14件であった。

n=72		
回答内容	回答数	割合
計	82	-
他の事業を優先もしくは導入の必要性はない	14	19.4%
事業の内容や財源の使い方による	8	11.1%
高齢者に偏らないものであるべき	7	9.7%
今ある交通サービスの利用促進および補助	7	9.7%
民間企業との協力	5	6.9%
利用者負担が望ましい	5	6.9%
その他	36	50.0%

<主な意見>

他の事業を優先もしくは導入の必要性はない

- ・その他財源との優先順位、緊急性を比較検討して決定すべき。(上目黒、女性、40代)
- ・障害のある方への対応の方が優先されるべきと思う。(東山、男性、50代)
- ・現状財源を使用するほど不便な場所ではないと感じます。(青葉台、女性、30代)

事業の内容や財源の使い方による

- ・「他の事業から予算を振り替えてでも」ではなく、区民にとって不必要と思われる事業や経費から予算を振替、行政が出すに相応な費用は出すべき。(大岡山、女性、30代)
- ・財源次第。無理なく行政が出せるなら、財源の大部分を行政が出す考えでもよい。(自由が丘、女性、50代)

その他

- ・日本中が高齢化。国で考えるべきでは。(自由が丘、女性、80代以上)
- ・新停留所までも移動出来ない高齢者も多々いるので、ドア to ドア対応の交通手段が必要であり、やはりタクシーか？(五本木、男性、60代)
- ・行政の財源負担や支援対象制限は必要になると思うが、交通渋滞解消や免許返納などの課題も一緒に解決できるよう工夫が必要。(青葉台、女性、40代)
- ・新たな交通システムに対するニーズがどれくらいあるのか？なので何とも言えない。(目黒本町、男性、60代)

<問 6.2 で「 財源を出す場合は一定の限度を設けるほうがよい」を回答された方のみ>  
 問 どのような限度が適当と思うか、お答えください。

・「 その他」の意見

財源の使い方に対する「 その他」の意見は、全体で 81 件あり、代表的な意見として「バス停留所や道路などの環境整備」が 9 件、「支援対象を絞る」が 8 件であった。

n=71		
回答内容	回答数	割合
計	81	-
バス停留所や道路などの環境整備	9	12.7%
支援対象を絞る	8	11.3%
わからない・内容によるため判断できない	7	9.9%
民間企業との協力	6	8.5%
収入に応じた負担軽減	5	7.0%
人件費	4	5.6%
高齢者に偏らないものであるべき	4	5.6%
利用者負担が望ましい	3	4.2%
その他	35	49.3%

<主な意見>

バス停留所や道路などの環境整備

- ・ 交通システムのために必要なインフラ整備（目黒、男性、50 代）
- ・ 安全に運行を行えるよう、環境整備、調査費用、他（中目黒、女性、50 代）
- ・ 停留所の屋根の設置（上目黒、男性、70 代）

支援対象を絞る

- ・ 交通システムが必要なら導入すべき。でも低コストで。高齢者に対する補助は良いと思うが、それに対する限度、補助対象者は絞るべきだと思う。（柿の木坂、女性、30 代）
- ・ 旅行者等は自己負担にする等、目的をはっきりして本当に必要な方に財源を使って欲しい。（東が丘、男性、30 代）

その他

- ・ 一般企業の参画・競争を促し、規制緩和をすべきである。（東が丘、男性、30 代）
- ・ デイサービスの車両を使うなど工夫はある。（平町、女性、60 代）
- ・ 対象を絞るのではなく、それぞれについて有効性を検討すべき。（下目黒、男性、20 代）

【問7】「目黒区の今後の新たな交通システム導入に対する利用意向」について

問7.1 今後、あなたの地域での新たな交通システムの導入に伴い、小型車両などが運行された場合の利用可能性について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。

<問7.1で「利用する」を回答された方のみ>

問 利用料金がいくら位であれば利用するか、お答えください。

・「その他」の意見

利用料金に対する「その他」の意見は、全体で115件あり、代表的な意見として「行き先やルート、利便性などの運行内容による」が54件であった。

n=104		
回答内容	回答数	割合
計	115	-
行き先やルート、利便性などの運行内容による	54	52.4%
将来、高齢になったら利用する	9	8.7%
シルバーパスの適用	8	7.8%
100円程度の料金がよい	5	4.9%
障害者割引や小人割引の適用	5	4.9%
タクシーより安い料金であれば利用	4	3.9%
無料がよい	3	2.9%
その他	27	26.2%

<主な意見>

行き先やルート、利便性などの運行内容による

- ・高齢になり、目的地に合致する運行がある場合、料金は特に関係なく利用する。(中町、男性、60代)
- ・料金と利便性の兼ね合いで、有効であれば利用する。(上目黒、男性、60代)
- ・路線バス同等の料金で運行頻度が1時間4本以上。(碑文谷、男性、50代)
- ・行き先が便利であれば利用する。料金が低い方が好ましい。(目黒、女性、40代)
- ・利便性がよければ路線バスより高くても利用するが、逆であれば安い方が良い。(碑文谷、男性、40代)
- ・利用しやすい運行状況なら料金に関係なく利用する。(自由が丘、女性、50代)
- ・料金よりも自分が利用したいときに利用できることが必要。(洗足、女性、60代)

その他

- ・路線バス(減便)も覚悟しての競争でないとは続かないのでは。(八雲、男性、60代)
- ・おそらく近距離乗車が多いと思うので安めが良いと思う。(目黒、女性、30代)

【自由意見】地域交通に関するご意見、ご要望

地域交通に関する意見、要望は、全体で 1151 件あり、代表的な意見として「新たな交通システムに対する意見（その他提案など）」が 257 件、「道路交通環境」が 181 件、「既存の交通事業に対する意見（バス）」が 135 件であった。また、「自転車関係」が 100 件、「福祉関係」が 19 件であった。

n=709

回答内容	回答数	割合
計	1151	-
新たな交通システムに対する意見(その他提案など)	257	36.2%
道路交通環境	181	25.5%
既存の交通事業に対する意見(バス)	135	19.0%
新たな交通システムに対する意見(肯定的意見)	104	14.7%
自転車関係	100	14.1%
既存の交通事業に対する意見(その他)	79	11.1%
新たな交通システムに対する意見(否定的意見)	60	8.5%
既存の交通事業に対する意見(タクシー)	45	6.3%
既存の交通事業に対する意見(鉄道)	36	5.1%
福祉関係	19	2.7%
その他	135	19.0%

<主な意見>

新たな交通システムに対する意見（その他提案など）

- ・病院など同じ所へ行く人が乗合いでもいいかなとも思っていますが、スマホもパソコンも使えない高齢者に何とか考えてもらいたいと思います。(原町、女性、80代以上)
- ・新しい交通を考えて頂けるのなら、逆に介護タクシーの数を増やして、その利用費用を安くしてくれるようなことを検討して頂いた方が良い。運行ルートによって住民の不利益が絶対に生じると思います。(下目黒、女性、80代以上)
- ・東京共済病院や厚生病院のすぐ前まで小型車両が入ると助かる人が多いと思う。(目黒、男性、50代)
- ・すぐ来てくれてタクシーより安い乗り物があつたらとても便利だと思います。大がかりなバスでなくても乗り合いタクシーのようなものであつたら便利なのかなと思いました。(柿の木坂、女性、30代)
- ・高齢者や福祉のための交通システムだけでなく、子育て世帯への支援としても検討してほしい。(大橋、女性、40代)
- ・目黒区はかなりバス網が発達しており、導入するルートによってはバス事業者に大きな影響を与える可能性があり、場合によってはバスの撤退という事態も考えられる。(上目黒、男性、70代)
- ・目黒区内を南北に結ぶ交通機関が少ないと思う。新たな交通システムを導入される時には駅に立ち寄るのは当然としても南北の交通網を考えていただきたいと思う。(原町、男性、40代)

### 道路交通環境

- ・道路の整備、自転車通行レーンの整備が必要だと思う。生活道路と車両通行道路を分けるとか、一方通行を整備するなど、人や自転車に配慮した道路の整備をしてほしい。(五本木、女性、50代)
- ・とにかく道がせまい所が多く、電柱もたくさんあり、歩いて移動するだけでもあぶない所も多い。(上目黒、男性、50代)
- ・行人坂は急な坂で何かしら歩く際の補助がほしい。高齢者はあの坂道を昇り降りするのは厳しいと思う。(下目黒、女性、40代)
- ・電柱の地中化などを進めてほしい。歩きやすくなることで移動がかなり楽になると思う。(目黒本町、男性、40代)
- ・路地は歩道が狭く、子供が通学するのに心配。車は狭い道でもとばすので対策してほしい。(下目黒、女性、40代)

### 既存の交通事業に対する意見(バス)

- ・バスの路線図やバス停案内が駅前に見当たらないので、既存の路線についても案内が欲しい。(南、女性、30代)
- ・バス(東急バス・小田急バス・都バス等共通)の乗り換え割引が欲しい。(駒場、女性、60代)
- ・ベビーカーが乗降しやすい車両の整備をお願いします。バス停におけるバスの乗り付けも、バス停によっては段差のため乗降が困難。(東が丘、男性、30代)
- ・バスの路線が一目でわかるパンフレットがあるとバスが利用しやすいと思います。(自由が丘、女性、40代)

### 自転車

- ・自転車のマナーが悪すぎて怖いです。特に高齢者のめちゃくちゃな信号無視、ルール違反はひどいです。(目黒本町、女性、60代)
- ・自転車シェアリングサービスが拡大して欲しい。(碑文谷、男性、20代)
- ・駅前の駐輪場をもっと充実して欲しい。昼頃になると駐輪できる場所がなく困ることがよくあります。(柿の木坂、女性、40代)

### その他

- ・目黒区だけに限定せずに、隣り合う区と連携することも考えてほしいです。(駒場、女性、60代)
- ・そろそろ免許も返納したい年ですが、住居は目黒区のはずれで、学校の多い住宅地なのでスーパーのひとつもなくまったく不便。個人店舗は次々閉鎖。(駒場、女性、80代以上)